

網走市学校教育計画

2019（平成31）年度 ～ 2028年度

～きらきら あばしりっ子プラン～

網走市の教育目標

めざす姿「^{あす}明日をひらくひと」



あばしりのゆるキャラ

ニボネ

網走市教育委員会

網走市民憲章

昭和 47 年 7 月 17 日制定

わたしたちは、母なるオホーツクの海に抱かれ、湖と森の美しい自然にかこまれた網走の市民です。

わたしたちには、遠いむかしから風雪にたえぬいて、この地をきり拓いてきた、たくましい先人の心がうけつがれています。

わたしたちは、このまちの市民であることに、かぎりない喜びと誇りをもち、のびゆく網走の良い市民となる願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. うみやまの深いみどりをいつまでも美しく、心豊かなまちをつくりましょう。
1. うけついだ文化にまなび、世界の人々と手をつなぎ新しいオホーツク文化のまちをつくりましょう。
1. たがいにまごころをもってつきあい、老人を大切にし、子どもの夢をそだてる、しあわせなまちをつくりましょう。
1. 元気で仕事にはげみ、生きがいのあるまちをつくりましょう。
1. みんなが力をあわせ、人のいのちをだいじにする、明るく住みよいまちをつくりましょう。

○網走市の花

えぞむらさきつつじ

市制施行 30 周年を記念して、心豊かなまちをつくるため、公募をもとに選定しました。
(昭和 52 年 10 月 2 日制定)



○網走市の木

かつら

市制施行 25 周年(開基 100 年)を記念して、自然環境の保護、育成を図るため、公募をもとに選定しました。
(昭和 47 年 8 月 12 日制定)



はじめに

日頃より市民の皆様には、網走市の学校教育の推進に特段のご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

網走市教育委員会では、本市教育のめざすべき姿の人間像として「網走市の教育目標」を平成20年5月に策定し、これを受け、学校教育の一層の充実に向け、学校教育振興のための基本的計画として「第1次網走市学校教育計画」を策定しました。

第1次計画期間が終了するにあたり、市民への「学校教育に関するアンケート」を実施して評価分析するとともに、「事務点検・評価報告書」の総括等を行いました。

この結果、これまでの10年間に於いて、変動の激しい教育環境に即した各種施策に可能な限り取り組み、様々な方のご協力を得る事により一定の成果を得られたことが確認できました。しかし、わたしたちを取り巻く現在の社会環境は、人口減少、少子高齢化、国際情報化など、10年前にも増して、より急速な進展や変化を遂げております。このような将来の変化を予測することが困難な時代に対応できる、めざすべき人間像としての「明日をひらくひと」を念頭に、今般、15名の策定委員による「学校教育計画策定会議」を中心として、今後10年間の「第2次網走市学校教育計画」を策定することができました。また、策定に際しては、小中学生による「学校教育計画子どもワークショップ」、市民からの「パブリックコメント」等、多くの方からご意見いただきました。

この計画では、推進方針として「生きる力を持ち、明日をひらく子どもを育成」と「地域全体とともに歩み、築く、より魅力と信頼のある学校の実現」の2つを掲げました。社会がどのように変化しようとも、地域全体（家庭、学校及び地域）が互いに連携、協働しながら、子どもたちを守り育てる教育環境づくりを推進し、魅力と信頼のある学校を実現してまいります。

笑顔が満ちあふれ、無限の可能性を秘めた網走の子どもたち一人一人は、かけがえのない存在であり、まちの宝です。市民の皆様には、この計画の趣旨をご理解いただくとともに、積極的なご協力とご参画をお願い申し上げます。

終わりに、この計画の策定に当たり、ご尽力をいただきました策定委員の方々をはじめ、「子どもワークショップ」に参加をされました児童生徒の皆さん、種々のご指導や貴重なご意見をいただきました関係者の皆様に、心からお礼申し上げます。

平成31年3月

網走市教育委員会

教育長 三 島 正 昭

目 次

第1章 網走市学校教育計画の概要

1 計画の趣旨	1
2 計画の範囲と期間	3
3 計画の位置付け	3
4 計画策定の視点と構成	4

第2章 学校教育を取り巻く社会の動向

1 社会情勢の変化	5
2 教育政策の動向	6

第3章 推進方針及び施策の柱

1 推進方針	8
2 施策の柱	9

第4章 施策項目

1 施策の方向性・主な取組	12
---------------------	----

第5章 計画の推進について

1 計画の進行管理	25
2 計画の見直し	25

<資料編>

資料① — 「網走市学校教育計画策定経過」	26
資料② — 「網走市学校教育計画策定会議委員名簿」	27
資料③ — 「児童生徒数・学級数・学校数の推移」	28
資料④ — 「第1次網走市学校教育計画の評価・分析」	29
資料⑤ — 「学校教育に関するアンケート結果（調査概要）」	47
資料⑥ — 「学校教育計画『子どもワークショップ』報告書」	60

○「網走市学校教育計画」の愛称（サブタイトル）について

この計画の愛称（サブタイトル）である「**きらきら あばしりっ子プラン**」の「**きらきら**」は、子どもたちがきらきらと輝き、夢や希望を見出して生きていくことを表しています。また、「**あばしりっ子プラン**」は、網走の子どもたちを学校教育の中で、どのように育ていくのかを明示している計画であることを表しています。

網走の子どもたちが自信を持って輝いて生きていけるよう願いを込めています。

第1章 網走市学校教育計画の概要

1 計画の趣旨

網走市では、平成20年5月に今後の本市教育のめざすべき姿の指針となる「網走市の教育目標」を策定しました。（2ページの図を参照）また、平成21年3月に、この教育目標を達成するため、学校教育のめざすべき全体像を体系的に示すものとして「網走市学校教育計画」を策定し、学校教育の基本的方向を明らかにするとともに、市民の期待や要望に応える教育行政の推進に努めてきました。

第1次網走市学校教育計画（平成21年度～平成30年度）では、「確かな自信をもち、共に明日をひらく子どもを育成」、「地域に開かれた、より魅力と信頼のある学校づくりを支援」を推進方針として掲げ、具体的な施策等を推進するための7つの施策の柱を立て、教育施策の推進に取り組んできました。

この間、社会状況、教育を取り巻く状況が目まぐるしく変化していく中、これまでの本市の学校教育の現状と課題を把握し、教育行政の更なる推進に向け、第2次網走市学校教育計画を策定しました。

①国の状況	「第3期教育振興基本計画」 （計画期間：2018年度～2022年度）
②北海道の状況	「第5次北海道教育推進計画」 （計画期間：2018年度～2022年度）
③網走市の状況	「網走市総合計画」 （計画期間：2018年度～2027年度） 「網走市教育大綱」 （計画期間：平成27年度～平成30年度）
④網走市教育委員会の状況	「網走市の教育目標」（平成20年5月策定） めざす姿「明日（あす）をひらくひと」 教育目標 「1 あばしりを愛し 自然や文化を大切にする ひと」 「1 ふれあいを大切にし 互いに助け合う ひと」 「1 きまりと責任を重んじ 明日に向かって力強く進む ひと」 「1 広い視野に立って 主体的に自らを高める ひと」 「1 豊かな心をもち 健やかなからだをつくる ひと」 「網走市学校教育計画」 （計画期間：平成21年度～平成30年度） 「網走市社会教育長期計画」 （計画期間：平成21年度～平成30年度）



網走市の教育目標

めざす姿

わたしたちは、オホーツクの豊かな水と大地から恵みを受け、厳しい自然と共生しながらたくましく生きてきた網走市民です。

わたしたちは、先人たちの幾多の困難を乗り越えて築きあげてきたまちの歴史や文化を継承し、新しいまちを創造していくために、次代を担うひとづくりを進めていく責任をもっています。

網走市の教育は、家庭、学校及び地域が連携しながら、それぞれの役割と責任を果たし、すべての網走市民（ひと）が「3つの心・3つの眼・3つの力」を培いながら、心ふれあう教育活動を実践し、積み重ねていくことで「自らを成長させていくひと」を育んでいきます。

このような教育を実現するために、社会とのかかわりの中で生きている自分を認識し、自然や人々とのふれあいを大切にしながら、生涯にわたって「明日をひらくひと」をめざす姿として、ここに教育目標を定めます。



教育目標

- 1 あばしりを愛し 自然や文化を大切にするひと
- 1 ふれあいを大切にし 互いに助け合うひと
- 1 きまりと責任を重んじ 明日に向かって力強く進むひと
- 1 広い視野に立って 主体的に自らを高めるひと
- 1 豊かな心を持ち 健やかなからだをつくるひと

(平成20年5月26日 網走市教育委員会決定)

*「あばしり」とは、網走の先人たちや自然・歴史・文化などとともに育まれた網走の土台となる全てのもののことを表します。

2 計画の範囲と期間

(1) 計画の範囲

学校教育法*で位置付けされている学校における教育の中で網走市教育委員会が関与できる部分の学校教育全般を対象としますが、学校教育の充実・向上に関わる家庭・地域等との連携・協力などの内容も関連・連携する項目として記載しています。

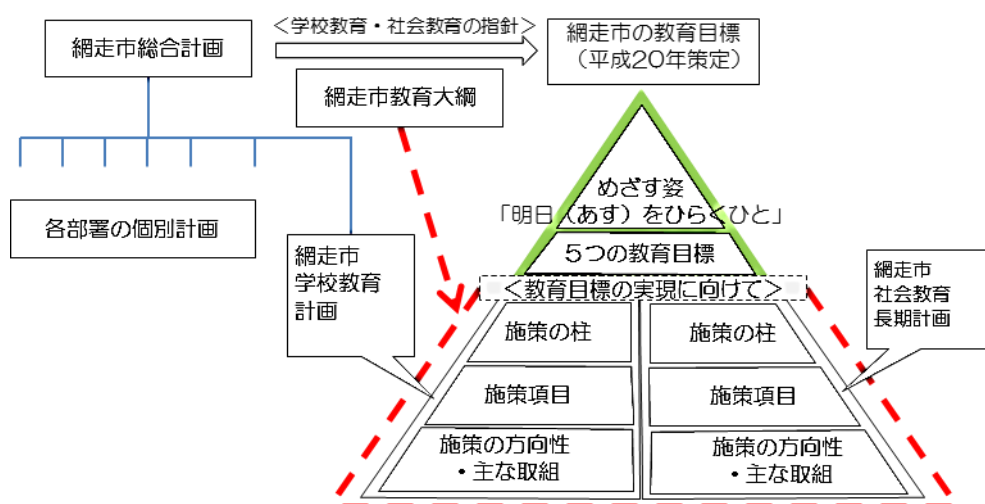
*学校教育法：第 1 条で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校と規定されています。

(2) 計画の期間

2019（平成 31）年度を初年度とし、2028 年度までの 10 年間とします。なお、必要に応じて、計画期間内においても見直しを行うものとします。

3 計画の位置付け

- (1) 本計画は、教育目標を実現するために、学校教育のめざすべき全体像を体系的に示す計画として位置付けをします。
- (2) 本計画は、教育基本法第 17 条第 2 項に規定される地方公共団体が策定する教育振興のための施策に関する基本的な計画として位置付けをします。
- (3) 本計画は、新しい網走市総合計画の学校教育に関する分野別の個別計画として位置付けをします。



4 計画策定の視点と構成

(1) 計画策定の視点

本計画の策定にあたっては、「網走市の教育目標」のめざす姿である「明日をひらくひと」となる子どもたちを育てるために、次の6つの視点に立って作業を進めました。

- ①計画内容はわかりやすいものとする。
- ②時代の変化を的確にとらえたものとする。
- ③網走らしさを活かしたものとする。
- ④幅広い意見を取り入れたものとする。（アンケート調査結果、子どもワークショップの意見の反映）
- ⑤網走市の教育目標や他の関連計画との整合性を図ったものとする。
- ⑥現行計画の取組について評価・分析した結果を踏まえたものとする。

(2) 計画の構成

本計画は、第1章から第5章で構成しています。

第1章では、計画の趣旨、計画の範囲と期間、計画の位置付け、計画策定の視点・構成について示しています。

第2章では、学校教育を取り巻く社会情勢の変化や教育政策の動向について示しています。

第3章では、本計画の推進方針と施策の柱を示しています。

第4章では、各施策の柱ごとの施策項目、今後の10年間で取り組む施策の方向性と主な取組について示しています。

第5章では、計画の進行管理、計画の見直しについて示しています。

第2章 学校教育を取り巻く社会の動向

1 社会情勢の変化

(1) 少子高齢化の進行と人口減少社会の到来

我が国は、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、経済成長、産業、社会保障など、さまざまな分野への影響が懸念されます。特に地方では、大都市圏への人口流出に歯止めがかからず、人手不足や地域活力の低下が進行し、保健、医療、福祉、地域交通、コミュニティなどの生活基盤を維持・確保することさえ困難になるなど、深刻な影響が懸念されます。

本市の平成27年国勢調査人口は、ついに4万人を下回る3万9,077人、高齢化率（65歳以上の人口割合）は26.9%となっており、この傾向はさらに進むことが予想されます。こうした中で、社会の活力を維持・向上させるための教育を含む社会システムの再構築が重要な課題となっています。

また、核家族化の進行など家族形態の変容は、価値観や生活様式の多様化とも相まって、家庭の共感や地域の共生の場としての役割が薄まり、子育ての経験・知識が伝わりにくくなることが指摘され、家庭の教育力の向上に向けた支援が必要です。

(2) 高度情報化の進展

インターネットやスマートフォン、タブレット端末、ソーシャルメディア、クラウド等の普及により、情報関連のみならず、経済や暮らしの利便性は飛躍的に向上しており、大量生産・大量消費を基軸とした工業化社会から、知識・情報を基盤とする情報化社会へと急速に変化しています。

一方で、子どもたちのスマートフォンの所持率は増加し、人と人とのコミュニケーションの希薄化や読書離れ・活字離れが指摘されています。さらに、個人情報漏洩や有害情報の氾濫、ネット依存症やネットいじめなど高度情報化の負の側面も見受けられます。このため、子どもたちにはICTを主体的に使いこなす力やインターネットの危険性や情報モラルに対する正しい知識を身に付けさせることが必要です。

(3) グローバル化の進展

交通機関や情報ネットワークの発展により、人・もの・情報の交流が国や地域を越えて活発に行われるなど、経済や文化は地球規模で展開されています。このように市場経済の拡大や貿易・金融の自由化により、国際的な相互依存関係はより一層緊密化する傾向にあり、異なる文化との共生がより一層強く求められています。

このようなグローバル化の進展により、国際的な視野を持って、国際社会をリードできる人づくりの重要性が高まり、教育の場を通じて、我が国やふるさと網走の伝統文化等への理解を深めるとともに、国際理解を深め、他者との人間関係を築くコミュニケーション能力や語学力などを身に付けることが必要です。

(4) 環境問題の深刻化

地球温暖化の進行による氷河の融解、海面水位の上昇、生態系の変化、病気の媒体となる生物の生息域の拡大、異常気象などは、私たちの生命や財産に大きな被害を与えていると考えられています。特に、近

年多発している集中豪雨や暴風雪による災害リスク、真夏日や猛暑日の増加による熱中症の危険性の高まりなどが懸念されています。

また、身近な環境問題であるごみ処理では、減量化やリサイクルなど、限りある資源の有効活用が求められています。

自然との共生と環境負荷の少ない循環型社会を形成するため、地球温暖化の防止、資源やエネルギーの有効活用など、できることから進んで実践できるよう、身近な生活と環境問題との関係について理解を深める教育がますます重要となります。

(5) 協働による持続的な教育の充実

人口減少・少子高齢化、経済のグローバル化、情報化など、子どもたちを取り巻く社会経済情勢は常に変化・複雑化し、住民のライフスタイルや価値観は変わり、そのニーズは多様化、高度化しています。

一方で、本市の財政は依然として厳しい状況にあり、歳入環境では一般財源総額(自由に使えるお金)が減少傾向にある中、歳出環境では社会保障関係費が増加を続け、さらに学校施設等の老朽化が進み、維持管理や更新費用が増大することが予測されます。

そのため、限られた財源をさらに効果的に活用するとともに、地域住民によるボランティアや、民間の活力を活かしながら、教育の質の充実を図り、環境を整備していく必要があります。

2 教育政策の動向

(1) 教育振興基本計画の策定

平成 20 年 7 月には、教育基本法第 17 条第 1 項に基づく教育振興基本計画が策定されました。この計画では、平成 20 年からの 10 年間を通じてめざすべき教育の姿を掲げ、改めて「教育立国」を宣言し、教育の振興に取り組むことが明記されています。

その検証結果を踏まえ、平成 25 年 6 月に策定された第 2 期教育振興基本計画においては、持続可能で活力のある社会を構築していくための社会の方向性として、「自立・協働・創造」の 3 つの理念を掲げ、成果目標や指標を設定しながら教育政策を推進しています。

第 3 期教育振興基本計画は、第 2 期の計画の理念を引き継ぎつつ、2030 年以降の社会の変化を見据えた課題解決に向けた教育政策の基本的な方針を示しており、平成 30 年 6 月に閣議決定されました。

(2) 教育委員会制度の見直し

平成 25 年 1 月に設置された「教育再生実行会議」により、様々な施策が実施されています。

特に、いじめの問題に対して、教育委員会による迅速かつ的確な対応がなされなかったことをきっかけとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置、地方公共団体の首長と教育委員会を構成員とした総合教育会議の設置、首長による教育に関する大綱の策定などを主な内容とする新しい教育委員会制度が平成 27 年 4 月から施行されています。

(3) 学習指導要領の改訂

学習指導要領は、これまでも、時代の変化や子どもたちの実態、社会の要請等を踏まえ、数度にわたり改訂され、前回の改訂では、これまでも重視されてきた「生きる力」の理念を継承しつつ、基礎的・

基本的な知識・技能の習得や授業時数の確保など、教育改革の形が具体的な内容として示されました。

平成29年3月の改訂では、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点から、教育課程の理念や新しい時代に求められる資質・能力の在り方、主体的・対話的で深い学びの考え方等について示されました。

この改訂された新しい学習指導要領に基づく教育活動は、平成30年度より一部先行実施され、2020年度から順次実施予定となっています。

(4) 北海道教育推進計画の策定

教育基本法第17条第2項に規定される地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画としての性格を併せ持つ北海道教育推進計画が平成20年3月に策定されました。この計画は「自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む」「心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む」という基本理念の実現をめざしています。

この計画は、平成29年度をもって計画期間を終えることから、平成30年度以降の北海道教育の理念や目標、施策の方向性などを示した、新たな北海道教育推進計画が平成30年3月に策定されました。

(5) 網走市教育大綱の策定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、総合教育会議の設置や首長による教育に関する大綱の策定が義務付けられました。平成27年8月、本市の教育、学術・文化及びスポーツの振興に関しての基本的な方向や推進すべき施策を示すため、「網走市教育大綱」を策定しました。

第3章 推進方針および施策の柱

1 推進方針

網走市学校教育計画（第1次網走市学校教育計画）は、平成20年5月に策定した「網走市の教育目標」のめざす姿「明日をひらくひと」を体系的に示すものとして、「確かな自信をもち、共に明日をひらく子どもを育成」、「地域に開かれた、より魅力と信頼のある学校づくりを支援」を2つの推進方針として掲げ、教育施策の推進に取り組んできました。

今日、進展する人口減少や少子高齢化に加え、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて加速度的に進展する時代にあり、教育を取り巻く情勢も様々な改革が進んでいます。

こうした状況の中、社会がどのように変化しようとも、「子どもたちが自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力」、「他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性」、そして、「たくましく生きていくための健康や体力」をバランスよく育てていくことが重要です。

このたび策定した第2次網走市学校教育計画は、「網走市の教育目標」の理念を踏まえ、明日をひらく子どもの育成と、より魅力と信頼のある学校の実現に向けて、今後10年間で網走市がめざす学校教育の推進方針を示すものです。

網走市教育委員会では、地域の将来を担う子どもたちが、夢と希望にあふれ、健やかに成長できるよう、そして、成長した子どもたちが「あばしり」で育ったことを誇りに思うことができるよう、学校、家庭、地域や関係機関との連携を一層強化して、各種施策を推進します。

推進 方針

I 「生きる力」をもち、明日をひらく子どもを育成

主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する「生きる力」をもち、ともに助け合いながら、明日をひらいていく子どもを育成します。

II 地域全体とともに歩み、築く、より魅力と信頼のある学校の実現

地域全体で、家庭、地域住民、学校がさまざまな連携や協働をしながら、子どもたちを守り育てる教育環境づくりを推進し、より魅力と信頼のある学校を実現します。

「生きる力」とは
それは、知・徳・体のバランスのとれた力のこと。
つまり、変化の激しいこれからの社会を生きるために、
確かな学力（知）、豊かな人間性（徳）、健康・体力（体）の
調和のとれた着実な育成に裏打ちされた
総合的な人間力のことです。

2 施策の柱

網走市の教育目標のめざす姿や教育目標に基づくとともに、教育を取り巻く諸課題や社会的要請を踏まえ、今後展開する施策の柱を整理しました。

この施策の柱は、子どもたち一人一人に身に付けさせるべき資質・能力の育成や、教育環境づくりの観点から「幼児教育」、「知育」、「徳育」、「体育」、「支援体制」「家庭・地域」、「学校・教員」の7つの視点を基に整理したもので、施策の柱ごとに、その視点に沿った個別・具体的な施策項目を設定しています。

施策の柱1 幼児期に身につけるべき基礎の育成

- 幼児期は、人格形成の基礎を育む重要な時期であることから、幼児期における教育が充実するよう支援するとともに、幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続のための取組の充実を図ります。

施策の柱2 確かな学力の育成

- 自ら学ぶ意欲を高め主体的に学びに向かうことができるよう、一人一人の状況に応じ、きめ細かな指導を通して、問題を発見・解決する力や、学習内容の定着を図り、確かな学力の育成を目指します。
- 国際化・情報化などの急速な社会変化に対応できるよう、外国語教育や情報教育の充実を図るとともに、将来、自らの個性を生かした社会人として自立できるよう職場体験などを通じたキャリア教育の充実に取り組みます。

施策の柱3 豊かな人間性の育成

- 人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生きるべきかなどについて考え、自らの生き方を探る子どもを育ていけるよう、また、自他の持っているよさ（個性）を大切に、思いやりの心を育ていけるよう、道徳教育の充実を図ります。
- いじめの根絶に向け、子どもが主体的にいじめの問題に向き合えるよう指導するとともに、いじめの未然防止、早期発見に向けた取り組みの充実に努めます。
- 地域での様々な体験活動やふれあいを大切に、地域の特色を学び、地域への愛着を育成するためふるさと教育の充実を図ります。

施策の柱4 健やかな体の育成

- 自ら心身の健康を大切にする気持ちや運動の楽しさ、喜びを実感できる体育活動を通して、体力の向上を図りながら、生涯にわたり、心身ともに健康で元気に生活できる健やかな体を持った、たくま

しい子どもの育成を目指します。

- 健全な発達のために必要な、望ましい生活習慣を定着させるとともに、地域に根ざした食育や自己の安全を守るための保健教育を推進することにより、元気に安全な生活を営むことができる子どもの育成を目指します。

施策の柱5 支援が必要な子どもに対する教育体制の充実

- 学校と家庭、関係機関との組織的な連絡調整を図りながら、子どもの状況を的確に把握した上で、発達障がいなどの特別な支援が必要な子どもへの対応を充実させ、一人一人の状況や困り感に応じた適切な指導や支援に努めます。
- 子どもの実態に応じた、通常の学級や特別支援学級、通級指導教室において適切な指導・支援を行うことができるよう、インクルーシブ教育の理念を踏まえた支援体制の整備に努めます。
- 不登校・問題行動などに係る相談や指導の体制を強化し、学校生活に適應できるようにするとともに、学校と家庭、関係機関との組織的な連携・協力を図りながら、多様な支援を必要とする子どもへの対応の充実に努めます。

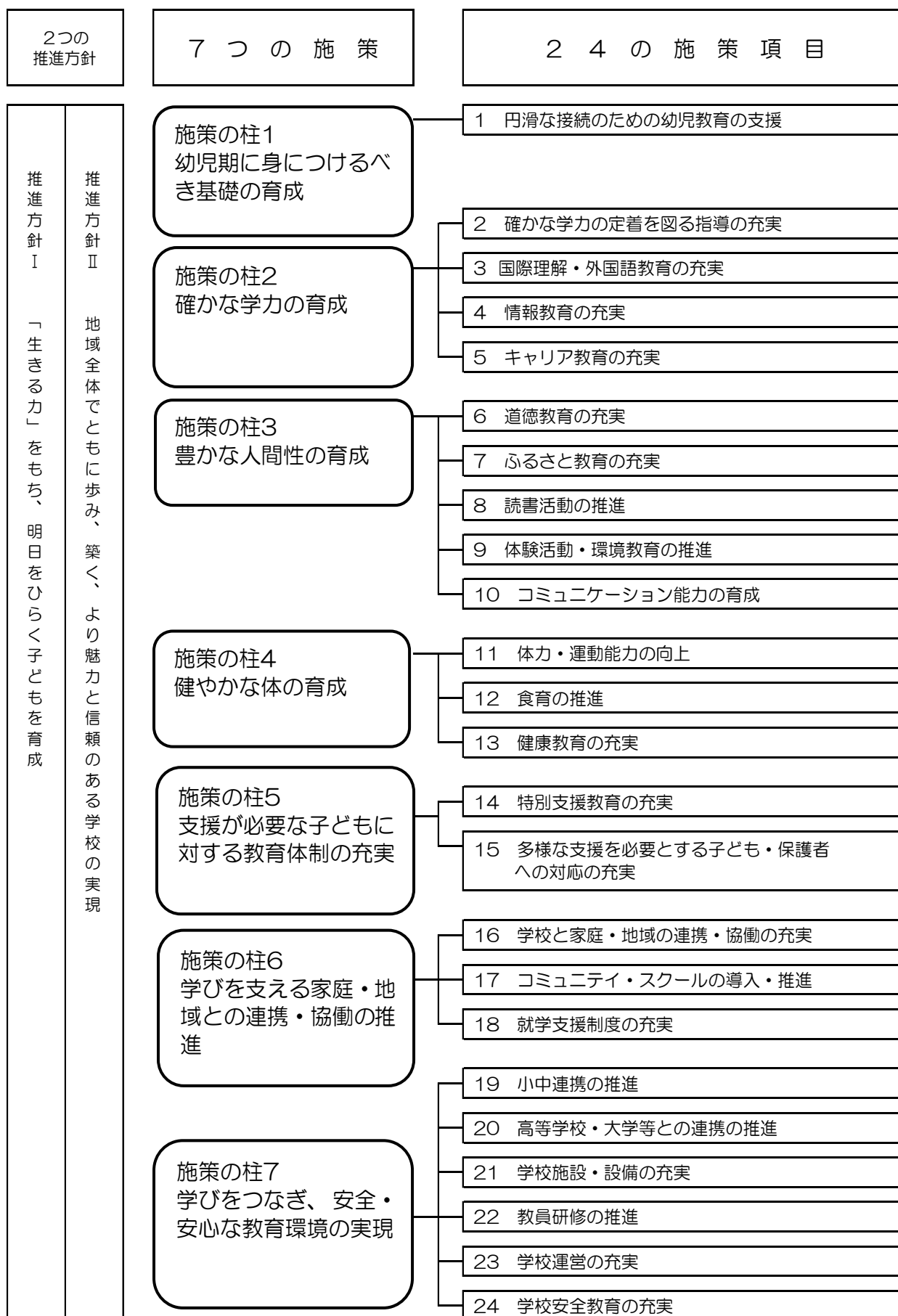
施策の柱6 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

- 地域とともにある学校づくりを目指し、地域の住民、企業、教育機関等がもつ人的資源や技能などを生かした学習環境づくりを進めるとともに、学校と家庭、地域が一体となった学校運営ができる仕組みとしてコミュニティ・スクールの導入・推進に努めます。
- 経済的理由により学びに困難を抱える子どもへの就学援助を行うとともに、奨学金による進学（高校、大学、専門学校など）支援を図り、就学機会の拡大を支援します。

施策の柱7 学びをつなぎ、安全・安心な教育環境の実現

- 小中学生と地域の高校、大学との交流を推進し、子どもたちの新たな興味や関心を引き出す様々な体験学習等の充実を図ります。
- 学校と地域との連携のもと、子どもにとって安全で安心して学べる学校づくりを目指します。
- 学校施設の長寿命化を図りながら、教育環境の整備に努めます。
- 教職員の多忙化が解消されていない状況にあることから、教職員がより一層、情熱と愛情をもって子どもと向き合うことができるよう、学校における働き方改革に向けた取組を推進するため、学校組織運営体制の改善・充実を図ります。
- 教職員の高い指導力と専門性をもつための教職員研修の充実を図ります。
- 子どもたちが犯罪や交通事故、自然災害等から身を守るために必要な知識を身につけられるよう、安全教育を推進するとともに、家庭、地域住民、学校がさまざまな連携や協働をしながら、登下校の安全管理や不審者対策など子どもたちの安全確保に取り組みます。

網走市学校教育計画の体系図



第4章 施策項目

施策の柱1 幼児期に身につけるべき基礎の育成

- ・ 幼児期は、人格形成の基礎を育む重要な時期であることから、幼児期における教育が充実するよう支援するとともに、幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続のための取組の充実を図ります。

施策の方向性・主な取組*

* 施策の方向性・主な取組：2019（平成31）年度から2028年度の10年間における施策の方向性と主な取組を記述しています。その実施主体の多くは教育委員会・学校になりますが、教育委員会・学校だけが取り組むのではなく、家庭・地域の理解と協力をお願いしたい施策については、【家庭】【地域】と表示しています。

施策項目	施策の方向性・主な取組
(1) 円滑な接続のための幼児教育の支援	子どもが円滑に小学校生活を始められるよう、幼児と小学校児童との交流を充実させるとともに、教職員間で情報交流の促進を図られるよう、「幼稚園・保育園・認定こども園・小学校」の連携を進めます。 ○幼保小連携の推進 ○教育相談の充実【家庭】

【関連・連携する項目】

取組の概要	担当部署
保育所や幼稚園、認定こども園などの運営に要する費用の給付	子育て支援課
幼児期の健康の保持、増進を図るため、健康診査（1歳6か月児・3歳児）や健康相談の実施	健康推進課
就学前の子どもをもつ親を対象とした、子育て講演会の開催	社会教育課

施策の柱2 確かな学力の育成

- ・ 自ら学ぶ意欲を高め主体的に学びに向かうことができるよう、一人一人の状況に応じ、きめ細かな指導を通して、問題を発見・解決する力や、学習内容の定着を図り、確かな学力の育成を目指します。
- ・ 国際化・情報化などの急速な社会変化に対応できるよう、外国語教育や情報教育の充実を図るとともに、将来、自らの個性を生かした社会人として自立できるよう職場体験などを通じたキャリア教育の充実に取り組みます。

施策の方向性・主な取組

施策項目	施策の方向性・主な取組
(2) 確かな学力の定着を図る指導の充実	子どもたちの確実な学習内容の定着のため、一人一人の状況を的確に把握し、生活習慣や家庭学習の指導も含め、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めます。 また、子どもの興味・関心などに応じた学習や、主体的・対話的で深い学びとなるよう、指導の改善と充実に努めます。 ○網走市学力向上推進委員会の取組の充実 ○補足的な学習サポートの実施【地域】 ○家庭学習の推進・充実【家庭】 ○学習支援員の配置 ○授業におけるICT※機器の活用
(3) 国際理解・外国語教育の充実	我が国やふるさと網走の伝統・文化の理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和や発展に寄与する態度を育むとともに、外国語の言語活動を通じて、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高め、国際理解を深める教育の充実に努めます。 ○伝統や文化等に関する教育の推進 ○外国語活動・外国語科教育に係る研修の推進 ○ALT※等による指導の充実
(4) 情報教育の充実	情報化の進展等に対応するため、情報活用能力を育成するとともに、情報モラルを育む教育環境の充実に努めます。 ○情報モラル教育の推進【家庭・地域】 ○情報教育機器の整備
(5) キャリア教育※の充実	学ぶことや働くことの意義を理解し、自分の個性を把握して進路を選択する能力や知識を育むとともに、将来、社会人・職業人として自立していくことができるよう、キャリア教育の充実に努めます。 ○学校における組織的・体系的なキャリア教育の推進

【関連・連携する項目】

施策の概要	担当部署
豊富な経験・知識・技術を持った市民の力を活用した小中学校への出前授業の実施	社会教育課
外国語に触れ外国のパーティーを体験することにより国際感覚を育成する	社会教育課
幼少期（保育園・幼稚園・小学校）から外国語に触れ関心を高める	社会教育課
姉妹都市・ポートアルバーニ市（カナダ）への派遣・受け入れにより、異文化の理解を深める。	企画調整課
図書館での職場体験を通じて、図書館への理解や読書の楽しさを深めてもらう取組	図書館
市内企業の説明会・面接会の開催 （主催：網走商工会議所・網走市・ハローワーク網走）	商工労働課
「夢先生」による講演、実技を通して、自分の夢について考える取組	スポーツ課



学校教育計画『子どもワークショップ』に参加した子どもたちの想い①

テーマ		まとめの内容	
まなび 『学』	小学生	○『家』グループ ①家庭学習と宿題をまとめて考え、継続すること ②学年に合った家庭学習をすること	
		○『みんなが見えるような物を作る』 家庭学習の良い見本を公開する	
		○『学校』グループ ①（先生）実物投影機などを使って目で見る授業	
		○『学校』グループ ②（自分）みんなが考える授業	
	中学生	○勉強の仕方がわからない人のためのプリントで計画性をもつ。	
		○交流活動を短くすることで、うるさくならない勉強しやすい環境ができる。	
		○先生からテストを用意してもらったり、コメントやアドバイスをくれることで、勉強意欲がわく。	



-
- * ICT : Information and Communication Technology の略。例えば、パソコンでインターネットなどを活用する技術のことで、教育分野では、情報コミュニケーション技術と訳される。
 - * ALT : Assistant Language Teacher の略。学校に派遣する外国語指導助手。
 - * 情報モラル : 情報通信ネットワークを利用する際、他者への影響を考え、責任を持って、正しく安全に利用するための基本的な考え方や態度のこと。
 - * キャリア教育 : 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。
-

施策の柱3 豊かな人間性の育成

- ・ 人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生きるべきかなどについて考え、自らの生き方を探る子どもを育ていけるよう、また、自他の持っているよさ（個性）を大切にし、思いやりの心を育ていけるよう、道徳教育の充実を図ります。
- ・ いじめの根絶に向け、子どもが主体的にいじめの問題に向き合えるよう指導するとともに、いじめの未然防止、早期発見に向けた取り組みの充実に努めます。
- ・ 地域での様々な体験活動やふれあいを大切に、地域の特色を学び、地域への愛着を育成するためふるさと教育の充実を図ります。

施策の方向性・主な取組

施策項目	施策の方向性・主な取組
(6) 道徳教育の充実	「特別の教科道徳」を要として学校の教育活動全体を通じて、子どもに生命を大切にする心や倫理観・規範意識を育むための、道徳教育を推進します。 ○いじめ根絶意識の啓発 ○「網走市子ども会議」の開催 ○人権・福祉教育の充実 ○あいさつ運動の推進
(7) ふるさと教育の充実	あばしりの豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業に理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む教育活動を推進します。 ○「網走ふるさと給食」の実施 ○郷土副読本「あばしり」*の充実
(8) 読書活動の推進	多様な興味・関心に応える魅力ある図書を充実し、子どもたちの豊かな感性や表現力、創造力を高める読書活動の充実に努めます。 ○読書習慣の確立と読書指導の充実【家庭・地域】 ○学校図書館司書の配置 ○読書感想文コンクールの実施 ○学校図書館の計画的な整備と利活用の推進
(9) 体験活動・環境教育の推進	豊かな人間性を育み、社会の一員としての自覚を深めさせるため、幼少期から、学校や家庭、地域における多様な体験活動や地域の特色を活かした体験活動を計画的に創出します。 また、自然環境や様々な環境問題に対する関心を高め、主体的に環境に配慮して行動できる意欲や態度を身に付けることができるよう環境教育の推進に努めます。 ○地域の特色を活かした体験活動の充実 ○環境教育の充実

(10) コミュニケーション能力の育成	子どもたちが自分の考えをもち、表現しながらその考えを形成・深化させたり、よりよい人間関係を形成することができるよう、各教科等においてコミュニケーション能力を高めるための学習活動の充実に努めます。 ○話し合いや発表等を取り入れた学習活動の充実 ○自尊感情を高めるための指導の充実 ○相手に気持ちを伝える活動の充実
---------------------	---

【関連・連携する項目】

施策の概要	担当部署
体験活動を通して、リーダーとしての資質向上を図る事業（子ども会育成会と共催）	社会教育課
自分の考えや実践している内容を意見発表し、豊かな心を育成する事業	社会教育課
動物と触れ合う機会を設け生命を大切に、心豊かな子どもの育成を図る	社会教育課
夢や人生などをテーマとした文化講演の開催（子ども夢育事業）	社会教育課
ファミリー劇場、青少年音楽教室、アートセミナー開催（芸術文化事業）への支援	社会教育課
小中学生に対する地域学習の支援（ふるさと学習支援事業）	図書館
網走産の農水産物（野菜・行者菜・鮭・鯨など）や地域産業への関心を高める事業	農林課 水産漁港課
湧湖湖水鳥湿地センターによる自然観察会の開催	生活環境課
網走市郷土博物館、モヨロ貝塚の各種見学会の開催	博物館
子どもの美術展や講座などの開催	美術館
小学校の学級にクリオネ文庫を配置し、読書のきっかけづくりを支援	図書館
読み聞かせ会、お楽しみ会、企画展などの開催	図書館
自然環境との触れ合いにより、自然を大切にする心を育み人と自然との関わりを学習（あばしり学）	社会教育課
国内友好都市との交流・体験活動	企画調整課
「こどもエコクラブ」登録団体の活動を支援	生活環境課
中学生に平和の尊さを実感してもらうとともに、平和意識を啓発する青少年平和都市交流事業	市民活動推進課

* 郷土副読本「あばしり」：網走の郷土について子どもたちに伝えるための副読本。内容はあばしりの自然環境や歴史、オホーツク文化、産業の様子、安全で健康なまちづくりなど、小学3・4年生が、社会科の学習の中で活用できるもの

* 総合的な学習の時間：探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す学習

施策の柱4 健やかな体の育成

- ・ 自ら心身の健康を大切にする気持ちや運動の楽しさ、喜びを実感できる体育活動を通して、体力の向上を図りながら、生涯にわたり、心身ともに健康で元気に生活できる健やかな体を持った、たくましい子どもの育成を目指します。
- ・ 健全な発達のために必要な、望ましい生活習慣を定着させるとともに、地域に根ざした食育や自己の安全を守るための保健教育を推進することにより、元気に安全な生活を営むことができる子どもの育成を目指します。

施策の方向性・主な取組

施策項目	施策の方向性・主な取組
(11) 体力・運動能力の向上	運動する時間を確保したり、互いに教え合う活動を取り入れたりするなど、楽しく達成感が味わえる体育活動の充実を図るとともに、日本体育大学や網走市を訪れるスポーツ合宿団体との連携により、運動に慣れ親しんだり、運動の楽しさを実感したりする取組を推進します。 ○タグラグビー*の推進 ○1校1実践の取組の推進 ○冬季スポーツの推進【家庭・地域】 ○運動能力に関係なく楽しむ体力づくり
(12) 食育の推進	子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、食育の推進を図るとともに、地産地消の推進を図るため、学校給食における地場産物の活用を推進します。 ○食に関する指導の充実 ○安全・安心な学校給食の提供
(13) 健康教育の充実	子どもの望ましい生活習慣の確立や、心身の健康を保持増進するために、各学校で保健教育を推進します。 ○子ども及び教職員の健康管理 ○子どもの望ましい生活習慣の確立【家庭】 ○健康相談や保健指導の充実【家庭】 ○フッ化物洗口*の推進

【関連・連携する項目】

施策の概要	担当部署
土曜日に小中学生対象として体育施設を無料開放	スポーツ課
各種のスポーツ教室や社会体育行事の開催	スポーツ課
スポーツ少年団や全国・全道大会出場への助成、少年団指導者の施設使用料の減額免除	スポーツ課
網走市食育推進計画に基づく食育啓発	健康推進課
親子対象の料理に関する教室の開催	健康推進課
網走産の農水産物や地域産業への関心を高める事業	農林課 水産漁港課
幼児期の健康の保持、増進を図るため、健康診査（1歳6か月児・3歳児）や健康相談の実施	健康推進課
保健師、栄養士、歯科衛生士による心身の健康に係る健康教育の実施	健康推進課
赤ちゃんふれあい体験教室（中学生と乳幼児及びその親との交流）の実施	健康推進課



学校教育計画『子どもワークショップ』に参加した子どもたちの想い②

テーマ	まとめの内容	
こころ 『心』	小学生	○学級でポストをつくる
		○うれしい言葉を言われた人がよろこぶ活動をする
		○他の学年と交流できる
		○校門でのあいさつ運動→礼儀正しくなる
		○放送をかけるともりあがる
からだ 『体』	中学生	○学年関係なく、グループになって交流する。（交流給食、心のタックル） ○生徒以外にも、先生と交流する。（運動会の参加、交流給食など） ○相手に気持ちを伝える。（ハートプロジェクト）
	小学生	○みんなができるようになる授業 ○みんなで楽しみながら体力を向上できる取組
	中学生	○能力があまり関係なく楽しめる運動をする ○1ヶ月に1回全校生徒で運動をする機会を設ける



-
- * タグラグビー：腰に付けたタグ（ビニール製のリボン）を取り合うことでタックルの代わりとなり、激しいぶつかり合いを排除した、より安全で手軽に楽しめるラグビーゲーム
 - * フッ化物洗口：フッ化物の水溶液でうがいをを行い、むし歯を予防する方法
-

施策の柱5 支援が必要な子どもに対する教育体制の充実

- 学校と家庭、関係機関との組織的な連絡調整を図りながら、子どもの状況を的確に把握した上で、発達障がいなどの特別な支援が必要な子どもへの対応を充実させ、一人一人の状況や困り感に応じた適切な指導や支援に努めます。
- 子どもの実態に応じた、通常の学級や特別支援学級、通級指導教室において適切な指導・支援を行うことができるよう、インクルーシブ教育[※]の理念を踏まえた支援体制の整備に努めます。
- 不登校・問題行動などに係る相談や指導の体制を強化し、学校生活に適應できるようにするとともに、学校と家庭、関係機関との組織的な連携・協力を図りながら、多様な支援を必要とする子どもへの対応の充実に努めます。

施策の方向性・主な取組

施策項目	施策の方向性・主な取組
(14) 特別支援教育の充実	特別な支援を必要とする子どもの状況を的確に把握し、一人一人の状況や困り感に応じた適切な指導や必要な支援に努めます。 ○特別支援教育に関する研修講座の開催 ○特別支援教育設備等の充実 ○「個別の教育支援計画」[*]等の活用促進【家庭】 ○特別支援教育支援員の配置 ○日本体育大学附属高等支援学校、網走養護学校との連携
(15) 多様な支援を必要とする子ども・保護者への対応の充実	学校の指導、相談体制を充実するとともに、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を果たし、一体となって取組を進められるよう、連携・協力の体制を充実させます。 ○スクールカウンセラー[*]やスクールソーシャルワーカー[*]等による相談・支援の充実 ○教育相談室の充実 ○不登校児童生徒への支援の充実 ○児童相談所など関係機関との連携の推進

【関連・連携する項目】

施策の概要	担当部署
発達障がい等のある幼児及び児童生徒への児童発達支援、放課後等デイサービス（機能面等の向上と発達援助）	社会福祉課
心身に障がいのある乳幼児の機能訓練のほか、相談・支援・指導（こども発達支援センター）	子育て支援課
青少年の非行の未然防止や健全育成指導のための市内巡回や相談・広報活動の実施	社会福祉課

-
- * インクルーシブ教育：人間の多様性の尊重等を強化し、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶこと。
 - * 個別の教育支援計画：医療、保健、福祉、労働などの関係機関との連携を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点に立って、一貫して的確な教育的支援を行うことを目的とした個別の支援内容を示した計画。
 - * スクールカウンセラー：学校に配置され、子どもの生活上の問題や悩みの相談に応じるとともに、教職員や保護者に対して指導・助言を行う専門家。
 - * スクールソーシャルワーカー：子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所との連携や、教職員への支援を行う福祉の専門家。
-

施策の柱6 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

- ・ 地域とともにある学校づくりを目指し、地域の住民、企業、教育機関等がもつ人的資源や技能などを生かした学習環境づくりを進めるとともに、学校と家庭、地域が一体となった学校運営ができる仕組みとしてコミュニティ・スクール^{*}の導入・推進に努めます。
- ・ 経済的理由により学びに困難を抱える子どもへの就学援助を行うとともに、奨学金による進学（高校、大学、専門学校など）支援を図り、就学機会の拡大を支援します。

施策の方向性・主な取組

施策項目	施策の方向性・主な取組
(16) 学校と家庭・地域の連携・協働の充実	社会全体で子どもを支えていくため、地域とともにある学校づくりや、地域住民、企業、大学等の教育機関がもつ人的資源や技能などの地域の教育力を生かした学習環境づくりを進め、地域と学校の双方向の結び付きを強めます。 ○オープンスクール[*]の実施 ○土曜日授業の実施 ○学力向上フォーラムの開催 ○地域人材を活用した教育活動の推進
(17) コミュニティ・スクールの導入・推進	コミュニティ・スクールの導入により、学校と地域住民等が、「9年間でどのような子どもたちを育てるのか」「地域でどのような教育を実現していくのか」という目標やビジョンを共有しながら、地域と一体となった特色ある学校づくりを推進します。 ○コミュニティ・スクールの導入・推進
(18) 就学支援制度の充実	家庭の経済的理由により学びに困難を抱える子どもへの支援を行うため、学費等の援助や奨学金の貸付を行い、教育費の負担軽減を図ります。 ○就学奨励制度の継続 ○奨学金制度の充実

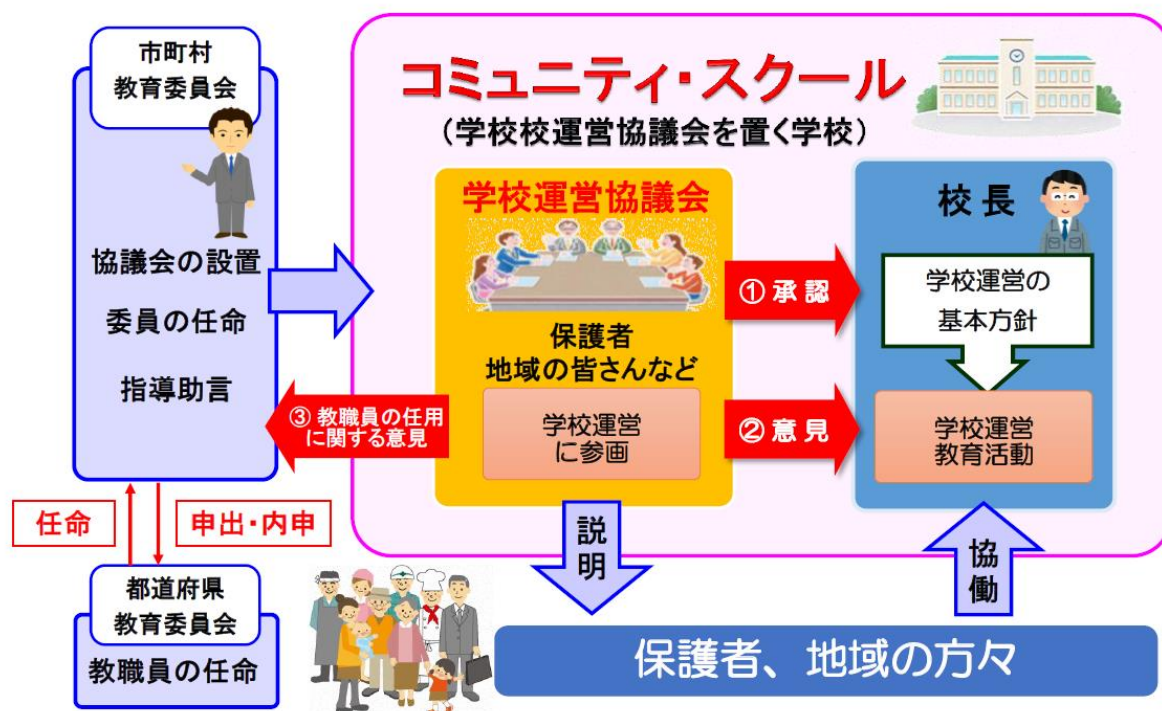
【関連・連携する項目】

施策の概要	担当部署
家庭教育に関するフォーラム、講座、学級等の開催（PTA と連携）	社会教育課
学校支援地域本部の設置（地域住民による学校支援活動を推進）	社会教育課
放課後や週末に子どもたちが安全で安心して活動できる居場所づくり（遊村あばしり）	社会教育課
児童に健全な遊びを提供し、健康の増進を図る児童館や放課後児童クラブの運営	子育て支援課
地元入学者への経済的負担軽減を図るための学生確保対策支援事業（東京農業大学）	企画調整課
入学時の経済的負担軽減を図るための支援金の給付（日本体育大学附属高等支援学校）	企画調整課

《コミュニティ・スクール》

- * 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会が任命した保護者や地域住民等により構成される「学校運営協議会」を設置している学校を指し、一定の権限と責任をもって学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べることができる制度。

学校と地域が目標を共有し、子どもを地域で育てる「仕組み」



* オープンスクール: 授業開始の1時間目から授業終了まで何時でも児童生徒の授業をみることができる地域開放日

施策の柱7 学びをつなぎ、安全・安心な教育環境の実現

- ・ 小中学生と地域の高校、大学との交流を推進し、子どもたちの新たな興味や関心を引き出す様々な体験学習等の充実を図ります。
- ・ 学校と地域との連携のもと、子どもにとって安全で安心して学べる学校づくりを目指します。
- ・ 学校施設の長寿命化を図りながら、教育環境の整備に努めます。
- ・ 教職員の多忙化が解消されていない状況にあることから、教職員がより一層、情熱と愛情をもって子どもと向き合うことができるよう、学校における働き方改革に向けた取組を推進するため、学校組織運営体制の改善・充実を図ります。
- ・ 教職員の高い指導力と専門性をもつための教職員研修の充実を図ります。
- ・ 子どもたちが犯罪や交通事故、自然災害等から身を守るために必要な知識を身につけられるよう、安全教育を推進するとともに、家庭、地域住民、学校がさまざまな連携や協働をしながら、登下校の安全管理や不審者対策など子どもたちの安全確保に取り組みます。

施策の方向性・主な取組

施策項目	施策の方向性・主な取組
(19) 小中連携の推進	同一中学校区内の小学校と中学校が課題意識を共有するため、小中連携会議を開催するなど、小学校と中学校の連続的な学びの構築を推進します。 ○同一中学校区内にある小中学生の交流 ○同一中学校区内にある小中学校教職員の連携
(20) 高等学校・大学等との連携の推進	小中学生が高等学校・大学と交流する機会を充実することで、将来を見通した学習への興味・関心や学ぶ意欲の向上を図るとともに、教職員間のネットワークづくりに努めます。 ○網走南ヶ丘高等学校、網走桂陽高等学校との連携 ○東京農業大学との連携 ○日本体育大学、日本体育大学附属高等支援学校との連携 ○網走養護学校との連携 ○網走南ヶ丘高等学校定時制の支援 ○北海道有朋高等学校通信制課程※協力校（網走桂陽高等学校）との連携
(21) 学校施設・設備の充実	子どもの学習・生活の場として安全性を備え、安心感のある教育環境を目指し、多様化する教育内容・方法に即した学校施設の整備を進めます。 ○学校施設の維持管理 ○学校設備・備品の充実 ○学校施設の長寿命化

(22) 教員研修の推進	教員が諸課題に対応できる専門的知識・技能を向上させるとともに、子どもたちの健やかな成長のため、組織的かつ効果的に教育活動を展開することができるよう、教職員研修の充実に努めます。 ○各種研修の充実 ○公開研究会の開催
(23) 学校運営の充実	より魅力と信頼のある学校の実現に向けて、子どもたちの実態や地域の特色を生かした教育活動を展開するとともに、学校評価を積極的に活用し、学校運営の充実に努めます。 また、教職員の多忙化を解消し、教職員がより一層、情熱と愛情をもって子どもと向き合うことができるよう、学校における働き方改革に向けた取組を推進します。 ○学校評価の充実【家庭・地域】 ○教職員の健康管理 ○教職員の業務改善の推進
(24) 学校安全教育の充実	子どもの登下校時の安全管理や、学校への不審者侵入や緊急避難時等の対応、安全教育等の充実に図ります。 ○防犯・防災教育の充実【家庭・地域】 ○交通安全教育の充実【家庭・地域】

【関連・連携する項目】

施策の概要	担当部署
交通安全指導員等による交通安全教室の開催	市民活動推進課
子どもが安全で安心して活動できる居場所づくり（放課後子ども教室）	社会教育課
児童に健全な遊びを提供し、健康の増進を図る児童館や放課後児童クラブの運営	子育て支援課

* 北海道有朋高等学校通信制課程：北海道で唯一の公立通信制高校です。札幌市に実施校（本校）があり、道内32の高等学校に協力校（スクーリング会場）があります。

第5章 計画の推進について

1 計画の進行管理

この計画の推進にあたっては、限られた期間と財源の中で、効果や効率を考慮しながら取り組んでいくとともに、計画（PLAN）-実施（DO）-評価（CHECK）-改善（ACTION）のサイクルによって、施策・事業の進行管理をすることが重要となります。そのため、毎年度策定している「教育行政推進方針」と併せて、この計画の進捗状況の管理や評価を行い、計画の実効性を高めていく必要があります。

- ① 「進行管理の方法」については、毎年度策定する「教育行政推進方針」の事業レベルでの点検・評価の中で、重点事項を中心として、整理をしていきます。
- ② 第1章の3「計画の位置付け」において位置付けをしている「網走市の教育目標」や「網走市総合計画」との関連も考慮しながら、計画の進行管理を進めていきます。
- ③ 国や北海道とのかかわりの深い施策・事業については、その実現のために積極的に本市の考え方を要望していきます。

<教育委員会（行政）の責任の明確化について>

平成19年6月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条において、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、公表することが義務付けされました。また、国の「教育振興基本計画」においては、教育委員会の責任体制の明確化を図ることを促すと明記されています。

平成20年度から「教育行政推進方針」に掲げられた施策に基づく事業や教育委員会の活動について、外部の意見も取り入れながら点検・評価を行い、その結果を公表して、教育委員会の責任を明確化するとともに、住民への説明責任を果たしていきます。

2 計画の見直し

この学校教育計画の進行管理や評価の結果、学校教育を取り巻く社会情勢の変化のほか、国や北海道の教育政策の動向なども踏まえながら、必要に応じて、計画の見直しを検討します。

＜ 資 料 編 目 次 ＞

・資料① — 「網走市学校教育計画策定経過」	26
・資料② — 「網走市学校教育計画策定会議委員名簿」	27
・資料③ — 「児童生徒数・学級数・学校数の推移」	28
・資料④ — 「第1次網走市学校教育計画の評価・分析」	29
・資料⑤ — 「学校教育に関するアンケート結果（調査概要）」	47
・資料⑥ — 「学校教育計画『子どもワークショップ』報告書」	60

資料① 「網走市学校教育計画策定経過」

平成 30 年 2 月 28 日	○学校教育に関するアンケート調査〔学校教育課〕 ・現状の学校教育に関する課題や期待などを調査 ・調査区分：市民、学校評議員、保護者、教職員 ・対象者数：2,265 人 ・回収数（率）：827 人（36.5%）
平成 30 年 6 月 26 日	○学校教育計画策定会議委員の決定 ・委員構成：15 人 （校長、教頭、PTA、学校教育関係者（私立幼稚園・養護学校・市内高校・日本体育大学附属高等支援学校・東京農業大学の関係者）、公募委員）
平成 30 年 9 月 26 日	○第 1 回学校教育計画策定会議 ・会議内容：①方針（理由・位置付け・範囲・期間等）の説明、 ②学校教育計画面（計画概要、現状と課題）への意見
平成 30 年 10 月 15 日	○第 2 回学校教育計画策定会議 ・会議内容：①計画面（推進方針、施策の柱、施策項目）への意見
平成 30 年 10 月 27 日	○学校教育計画『子どもワークショップ』〔学校教育課〕 ・各小中学校から 2 名で計 30 名の子どもが参加 ・学力向上の取組、人間関係や心の取組、体力向上の取組についての意見 （グループ分けによる意見発表）
平成 30 年 10 月 29 日	○第 3 回学校教育計画策定会議 ・会議内容：①計画修正部分の確認と意見（主に推進方針・施策の柱）、 ②計画（案）への意見照会
平成 30 年 11 月 2 日	○計画（案）に対する意見照会〔学校教育課〕 ・庁内関係部署及び校長会に意見照会
平成 30 年 11 月 21 日	○第 4 回学校教育計画策定会議 ・会議内容：①計画修正部分の確認と意見 ②計画（案）への意見照会
平成 30 年 12 月 3 日	○パブリックコメント実施 ・募集期間：12/3～12/28
平成 31 年 1 月 28 日	○第 5 回学校教育計画策定会議 ・会議内容：①計画修正部分の確認と意見 ②パブリックコメント結果報告 ③計画面（最終案）への意見照会
平成 31 年 2 月 8 日	○「網走市学校教育計画」決定〔教育委員会〕

資料② 「網走市学校教育計画策定会議委員名簿」

氏 名	所 属 団 体 名 及 び 職 名
南 和広 （委員長）	東京農業大学生物産業学部 教授
緒方 隆人	網走市小中学校長会（第二中学校 校長）
伊井 俊明	網走市小中学校長会（呼人小中学校 校長）
松浦 勝美	網走市小中学校教頭会（中央小学校 教頭）
岸 澄美子	網走市小中学校教頭会（第四中学校 教頭）
中島 淨晴	網走市P T A連合会 副会長
加藤 由佳里	網走市P T A連合会 副会長
大林 晃	網走市私立幼稚園連合会 会長
武田 久	北海道網走南ヶ丘高等学校 校長
勝木 祐一	北海道網走桂陽高等学校 校長
佐々木 博充	北海道網走養護学校 校長
高橋 正志	日本体育大学附属高等支援学校 教諭
黒田 幸市	網走市町内会連合会 会長
山形 昇	公募委員
道山 マミ	公募委員

資料③ 「児童生徒数・学級数・学校数の推移」

○網走市立小中学校の児童生徒数（各年5月1日現在の数）

（人）

年 度	昭和53年	昭和63年	平成10年	平成20年	平成25年	平成30年
小学校児童数	4,277	3,702	2,700	2,155	1,945	1,697
中学校生徒数	2,068	2,168	1,550	1,090	981	880
児童生徒数	6,345	5,870	4,250	3,245	2,926	2,577

※児童生徒数において、過去30年間の中では、小学校児童数は昭和56年の4,529人をピークに、中学校生徒数は昭和62年の2,264人をピークに少しずつ減少してきております。

○網走市立小中学校数及び学級数（各年5月1日現在の数）

年 度		昭和53年	昭和63年	平成10年	平成20年	平成25年	平成30年
小学校	学校数	21校	16校	15校	9校	9校	9校
	学級数	161学級	138学級	127学級	103学級	104学級	108学級
中学校	学校数	12校	8校	6校	6校	6校	6校
	学級数	72学級	63学級	50学級	44学級	49学級	47学級

※学校数の減少は、昭和60年に6小学校を統合して東小学校が開校、平成12年に4小学校を統合して白鳥台小学校が開校、平成15年に4小学校を統合して西が丘小学校が開校しており、昭和61年に4中学校を統合して第四中学校が開校していることなどが要因です。

※学級数は、普通学級と特別支援学級を合わせた数です。

※近年の学級数増加は、（普通学級の減少数）＜（特別支援学級数の増加数）となっていることが要因です。

資料④ 「第 1 次網走市学校教育計画の評価・分析」

【現行施策の事務点検評価結果】

第 1 次網走市学校教育計画の 27 施策について、教育委員会で毎年実施している「事務点検・評価報告書」から、主な取組の概要、成果、課題について整理しました。

【現行施策のアンケート調査結果】

平成 30 年 3 月に実施した「学校教育に関するアンケート調査」のうち、第 1 次網走市学校教育計画の 27 施策に関する満足度と重要度の回答結果について、分析しました。

【今後の展望】

評価分析結果、学校教育を取り巻く社会の動向を踏まえて、今後の展望をまとめました。

施策の柱 1 幼児期に身につけるべき基礎を育む

施策（1）円滑な接続のための幼稚園教育への支援

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題						
幼稚園就園奨励費補助事業	対象園児は、幼稚園に在園している3歳児・4歳児・5歳児並びに満3歳児 保護者の課税状況（4ランク）と就園児人数に応じ、園児1人当たり下表の額（年額）を補助 <table><tr><td>1人就園の場合及び2人以上就園している場合の年長者</td><td>59,200 円 ～ 162,000 円</td></tr><tr><td>2人以上就園している場合の次年長者</td><td>106,000 円～ 190,000 円</td></tr><tr><td>3人以上就園している場合の上記以外の園児</td><td>243,000 円～ 260,000 円</td></tr></table> 市民税所得割課税額が 183,000 円超の世帯は対象外。中途入退園者は月割補助	1人就園の場合及び2人以上就園している場合の年長者	59,200 円 ～ 162,000 円	2人以上就園している場合の次年長者	106,000 円～ 190,000 円	3人以上就園している場合の上記以外の園児	243,000 円～ 260,000 円	保護者負担軽減	国庫補助制度が毎年改正のため、制度周知が必要
1人就園の場合及び2人以上就園している場合の年長者	59,200 円 ～ 162,000 円								
2人以上就園している場合の次年長者	106,000 円～ 190,000 円								
3人以上就園している場合の上記以外の園児	243,000 円～ 260,000 円								
幼児教育振興補助事業	教材教具等の購入費、もしくは園児1人当たり3,000円を乗じた額のいずれか低い額を補助	園具等充実が図られた	補助価格が適正か検討の必要あり						
私立幼稚園特殊教育振興補助事業	対象園児1人当たり100千円を限度として補助 補助対象となる経費の範囲（教材費、研修費、施設整備費、人件費）	特別支援教育に係る教材教具の充実、特別支援教育の振興に繋がった	情報共有する等補助金以外の支援も必要						
幼保小連携（教育）	幼稚園・保育園から小学校への引継ぎ	小学校教育との円滑な接続	教育内容の交流 幼稚園間の連携が乏しい						

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

- 幼稚園教員と小学校教員の合同研修会等、教職員研修の充実
- 教育相談の充実による、家庭が抱える課題の多様化・複雑化への対応
- 幼稚園・保育園から小学校への円滑な接続に向けた、子ども同士の交流活動、教員の連携会議など、幼保小連携の充実

施策の柱2 自ら学ぶ意欲と、自信をもって生きていく力を育む

施策（１）確かな学力を育む教育活動の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学力向上対策事業	比較・分析が可能な学力テストの実施： 小学校 989 千円、中学校 835 千円	児童生徒の学力の実態の把握	学校課題に応じた取組の改善
教材教具の整備	学習教材教具の整備 ・知能検査：小学校 151 千円、中学校 0 千円 ・教材費等配当：小学校 5,689 千円、中学校 4,708 千円 ・義務教育教材の整備（市単費）：小学校 4,967 千円、中学校 4,729 千円 ・理科教育教材の整備（国補助）：小学校 4,154 千円、中学校 2,868 千円 ・通知票、指導要録、卒業証書の印刷：小学校 500 千円、中学校 361 千円	充実した教育環境整備	継続して充実を図る
あばしり寺子屋開催事業	小学1～3年生を対象に学生ボランティアによるサポート授業 実施回数 6 回 述べ参加人数 1 年生 30 名、2 年生 26 名、3 年生 16 名、その他 7 名 計 79 名	参加児童の学習意欲向上	参加児童のニーズに応じた学習内容の提供
教職員研修事業	先進地視察 小学校 108 千円（苫小牧市立拓進小学校 視察 2 名） 中学校 85 千円（苫小牧市立青翔中学校 視察 2 名） 教職員研修、体力向上研修、ICT活用研修 学力向上フォーラムの開催（平成 29 年 12 月 9 日）	各学校における学力向上の取組の改善・充実	研修内容の充実と、受講者による研修成果の還流
学校教育研究実践校補助	指定校教育研究経費補助（H29 実績 計 930 千円） 内訳：網走小 90 千円、中央小 70 千円、西小 70 千円、南小 70 千円、潮見小 60 千円、東小 75 千円、西が丘小 75 千円、一中 70 千円、二中 70 千円、三中 70 千円、四中 70 千円、五中 70 千円、呼人小中 70 千円	各学校における校内研修の充実と教職員の授業力の向上	児童生徒の学力向上に結び付く研究内容の更なる改善

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.7（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を推進
- 学力向上に向けた検証改善サイクルを確立
- 学力の状況を把握する標準学力検査の実施と検査結果を活用
- タブレット型端末や実物投影機など、ICT機器の活用を促進

施策の柱2 自ら学ぶ意欲と、自信をもって生きていく力を育む

施策（2）一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学習支援員配置事業	退職教員、教職員免許取得者を6名嘱託雇用し、市立小学校4校、中学校2校に配置して習熟度別授業や少人数指導を実施	児童生徒の学習意欲の向上	習熟度別少人数指導など、より効果的な活用法の検討

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.5（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

- 学習に関する関心や意欲向上、家庭での学習習慣の定着
- 個別指導やグループ別指導といった学習形態の導入、理解の状況に応じた繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心や理解の状況に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導などを柔軟かつ多様に導入

施策（3）社会の変化に対応できる実践的な力を育む教育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
英語教育向上と国際理解促進のための英語指導助手配置	・英語指導助手（ALT）の配置（1名） ・中学校6校を訪問・指導 ・英語能力コンテスト等への協力 ・学校行事、クラブ活動への協力 ・地域における国際交流への協力	英語による表現力、コミュニケーション能力の向上	教職員との連携による指導体制の充実
ICT教育環境整備事業	実物投影機、大型モニターの整備 H28 小学校整備（実物投影機 55 台、大型テレビ 73 台） H29 中学校整備（実物投影機 33 台、大型テレビ 32 台）	効果的な資料の提示による学習指導の充実	活用方法の更なる充実
パソコン教育推進事業	①小中学校情報機器整備（H24 小学校 PC 教室 247 台、H21 教員用 PC 小学校 148 台、中学校 181 台） ②中学校タブレット整備（H26 整備 166 台） ③小学校特別支援学級タブレット整備（H28 整備 40 台）	コンピュータを活用した学習の充実と情報活用能力の向上	各教科における学習内容の定着に向けた効果的な活用

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.5（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

- 急速に情報化が進展する社会に対応できるよう、ICT等に対応する知識やスキル等を体系的に育成

施策の柱2 自ら学ぶ意欲と、自信をもって生きていく力を育む

施策（４）夢や希望を育むキャリア教育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
総合的な学習の時間の運営事業	- 観察、実験、ものづくりや調査活動を通じて、課題を見つける能力を育成する学習 - 問題解決や探究活動を行う課程の中で情報収集や報告の仕方、ものの考え方を育成する学習 - 自然体験やボランティア活動等の社会体験を通じて、豊かな心を育てる学習 - 相互交流を充実させ、表現力とコミュニケーション能力の向上を図る学習 （主な実施内容：施設見学、体験学習、企業訪問）	児童生徒が課題意識を持った学習活動の充実	地域素材を活用した学習内容やキャリア教育の視点をもった学習活動の充実

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.5（平均値 2.7） 重要度 3.4（平均値 3.5）	現状維持またはあり方について検討を要する施策

【今後の展望】

○一人一人のキャリア発達への支援の充実

○産業構造の変化や技術革新が進展する中、社会人として自立できるようキャリア教育の視点を踏まえた教育活動の充実

施策（５）コミュニケーション能力を育む教育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
総合的な学習の時間の運営事業	- 観察、実験、ものづくりや調査活動を通じて、課題を見つける能力を育成する学習 - 問題解決や探究活動を行う課程の中で情報収集や報告の仕方、ものの考え方を育成する学習 - 自然体験やボランティア活動等の社会体験を通じて、豊かな心を育てる学習 - 相互交流を充実させ、表現力とコミュニケーション能力の向上を図る学習 （主な実施内容：施設見学、体験学習、企業訪問）	児童生徒が課題意識を持った学習活動の充実	地域素材を活用した学習内容やキャリア教育の視点をもった学習活動の充実

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.5（平均値 2.7） 重要度 3.7（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

○各教科等における言語活動の充実

○国際理解教育の充実を図るとともに、外国語の指導を通じて積極的にコミュニケーションを図ることができる子供を育成

施策の柱3 思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育む
--

施策（１）豊かな心を育む教育活動の充実
【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
道徳教育の推進	道徳教育推進校への支援（公開研究会経費補助、100 千円） 道徳教育推進校の先進地視察（75 千円）	道徳教育に関する研究成果の発信	市内全校における道徳教育の充実
学校図書館司書の配置	- 平成 25 年度から学校図書館司書 1 名を小学校 3 校にモデル的に巡回配置 - 平成 27 年度は 3 名体制として司書教諭不在の状況を解消 - 平成 29 年度よりさらに増員して 4 名体制として、司書教諭配置校にも巡回を行い連携して読書への関心を高める取組みを推進	読書環境の充実と、児童生徒の読書意欲の向上	児童生徒が読書をする機会の更なる充実
学校図書の整備	毎年所要額を予算措置することにより、教材・教具の整備・充実 小学校 2,857 冊購入、中学校 2,178 冊購入	多様な図書の整備による学校図書館の充実	学校図書館の環境整備

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

- 道徳教育推進校における教育講演会の開催、地域・保護者への積極的な道徳の時間の公開など、道徳教育の充実
- 「網走市子ども会議」を開催し、子どもが主体的に取り組むいじめ防止の取組を推進するなど、心の教育の充実

施策の柱3 思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育む
--

施策（２）豊かな感性を醸成する教育活動の充実
【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
音楽教育振興事業補助金事業	全国大会参加費の一部助成 ・H26～27 網走小学校 全日本バンドフェスティバル出場 ・H26 第一中学校、H26 第二中学校 東日本学校吹奏楽大会出場 ・H26 網走南ヶ丘高校 東日本学校吹奏楽大会出場	音楽教育の振興	効果的な実施を精査
吹奏楽楽器整備	市内小中学校（網走小、第一中、第二中、第三中、第五中）から要望のあった楽器を整備（H28～）	吹奏楽指導の充実	楽器の維持管理
読書感想文コンクール開催	H27 から実施 応募対象 網走市内小中学校に在学する児童生徒 応募区分及び応募作品数（H29 開催分） （小学校）第1学年の部 116 点、第2学年の部 270 点 第3学年の部 280 点、第4学年の部 249 点 第5学年の部 268 点、第6学年の部 296 点 （中学生）第1学年の部 245 点、第2学年の部 289 点 第3学年の部 69 点	文章で考えを表現する学習の継続による学力の向上	読書指導、表現指導の更なる充実

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.5（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

- 芸術文化に接する機会の充実
- 「網走市読書感想文コンクール」の実施、家読（うちどく）や朝読書の推進、「読書ノート」の積極的な活用等、読書活動の充実

施策の柱3 思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育む

施策（3）地域から学ぶふるさと教育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
ふるさと教育の推進	・総合的な学習の時間や社会科副読本を活用した授業 ・「網走ふるさと給食」において、地元産食材を使用した給食を実施し、希望校においては生産者講話を実施。（メニュー：鮭ザンギ丼、大根の煮物、一口チーズ、牛乳） ・地元産業や地場産物への理解を深めるため、網走産行者菜やあばしり、和牛、でん粉食品を使用した給食の実施 ・学校給食用パンへの網走産小麦100%使用 ・鯨食文化の理解を深めるために、鯨肉を使用した給食の実施	地域の歴史や文化についての理解	地域人材の活用、副読本の内容の見直し

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.8（平均値 2.7） 重要度 3.4（平均値 3.5）	改善の必要性が低い施策

【今後の展望】

○あばしりの豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業等に理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む教育活動の充実

施策（4）社会への関心を高める教育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
環境教育やボランティア教育の充実	リサイクル施設見学支援、ボランティア清掃活動支援	環境教育やボランティア教育の充実	関係機関との連携による学習内容の充実

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.6（平均値 2.7） 重要度 3.5（平均値 3.5）	現状維持またはあり方について検討を要する施策

【今後の展望】

○豊かな人間性や社会性を育むために、多様な体験活動の場を創出する必要

○地域を素材とした総合的な学習の時間、ふるさと教育、食育などの充実

施策の柱4 心身ともに健康で元気に生活できる体を育む

施策（１）心身の健康を育む健康教育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
児童生徒及び教職員の健康管理事業	・新入学の児童を対象とした就学時健康診断の実施 ・在籍する児童生徒を対象とした各種健診の実施（尿検査、結核健診、脊柱側湾症検査、眼科検診、耳鼻咽喉科検診、心臓検診） ・学校に勤務する教職員 244 名の健康診断を実施（うち、要再検 84 名）	児童生徒及び教職員の健康管理	医師会との連携、学校との日程調整、検診会場の見直し

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.8（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

○生涯にわたって健康な生活を送るための適切な意思決定や行動選択などの資質・能力の育成

施策（２）元気な体をつくる教育活動

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
児童体力向上推進事業	一校一実践の取組、タグラグビーの教育課程への位置付け タグラグビー交流会開催（H21～） 教育長杯タグラグビー大会（H24～）	児童生徒が運動に取り組む機会の増加	運動をする機会が少ない児童生徒への対応
子ども体力づくりサポート事業	学校法人日本体育大学から市内小学校へ講師を派遣 潮見小学校（3年、4年）、西小学校（3年、4年）、 呼人小学校（1年～6年）、東小学校（3年、4年）、 白鳥台小学校（3年、4年）	運動に親しむ態度の育成と体育授業の改善	体育授業の改善に向けた研修機会の充実
学校プールの安全管理と施設整備	・市内7校（網走、中央、西、南、潮見、東、白鳥台小学校） ・プール管理人を各校1名配置（委託先：シルバー人材センター） ・プール環境の点検も管理人が実施（水質、水温、室温等） ・定期検査実施（学校薬剤師と市1名で残留塩素、大腸菌群、管理日誌記録等点検） ・児童が使用する際、委託の管理人の他に教師2名を配置して監視 ・プール使用時期前後に濾過機の保守点検や屋根シートの付け外しを実施	安全・安心な学校プールの運営	プール施設の老朽化
学校スケートリンクの設置	スケートリンク設置に係る助成 （網走小、東小、白鳥台小、西小、西が丘小の5校）	冬季スポーツに親しむ機会の充実	リンク造成に負担がかかっている

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.5（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

- 運動する時間を確保したり、互いに教え合う活動を取り入れたりするなど、楽しく達成感が味わえる体育の授業の充実
- 日本体育大学やスポーツ合宿団体との連携により、運動に慣れ親しんだり、運動の楽しさを実感したりする取組を推進
- オリンピック・パラリンピック教育の推進

施策の柱4 心身ともに健康で元気に生活できる体を育む

施策（3）地域の食を基盤とした食育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学校給食運営事業	・設備・備品の主な修繕・更新の実施状況【H29 実施分】 - ボイラー修繕（西部 486 千円） - 給食用食器かご・箸更新（全校用 1,312 千円） - 冷蔵冷凍庫更新（東小 134 千円） - 冷凍庫修繕（中央小 166 千円） - 給食室配管改修工事（中央小 189 千円） - 配膳室配管改修工事（三中 792 千円） - 暖房機取替工事（西小 245 千円） ・学校給食従事職員研修会（年1回） ・学校給食巡回指導の実施（年2回、栄養教諭の配置がない3校へ） ※保健所による検査 年1回 ・給食調理員の検便検査、食材の細菌検査の定期的な実施 ・給食食材放射性物質検査（10回実施 検出なし） ・児童生徒の食物アレルギーに対し、家庭との連携を図り対応	安全安心な給食の提供により、健やかな身体の成長	調理体制の検討
食育推進や学校給食地場産品啓発普及事業	・栄養教諭による食に関する指導（栄養教諭5名配置） ・「網走ふるさと給食」において、地元産食材を使用した給食を実施し、希望校においては生産者講話を実施。（メニュー：鮭ザンギ丼、大根の煮物、一口チーズ、牛乳） ・地元産業や地場産物への理解を深めるため、網走産行者菜やあばしりや和牛、でん粉食品を使用した給食の実施 ・学校給食用パンへの網走産小麦100%使用 ・鯨食文化の理解を深めるために、鯨肉を使用した給食の実施 ・野菜摂取量の増加、野菜に親しむことを目的とした野菜の日給食の実施	児童生徒の地場産物や食文化に対する理解	生産者や流通などの関係機関との連携体制

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.9（平均値 2.7） 重要度 3.3（平均値 3.5）	改善の必要性が低い施策

【今後の展望】

- 児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、食育の推進が必要
- 地産地消の推進を図るため、学校給食における地場産物の活用
- 安全・安心な学校給食の充実

施策の柱4 心身ともに健康で元気に生活できる体を育む

施策（４）望ましい生活習慣を確立する教育活動の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
子どもの生活習慣育成事業	アンケート調査実施、リーフレットの配布	各家庭での生活習慣の改善	啓発活動の充実

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.5（平均値 3.5）	改善の必要性が低い施策

【今後の展望】

- 保護者との連携による、「早寝・早起き・朝ごはん」など、望ましい生活習慣の定着に向けた取組の推進
- 家庭学習の習慣化やテレビ・ゲームの時間の見直しなど、「生活リズムチェックシート」の積極的な活用

施策（５）自己の安全を守る安全教育の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
子ども安全対策事業	地域の協力でパトロール活動実施、活動用資材配布、子ども110番事業、学校巡回指導	子どもの安全確保、犯罪被害の未然防止	地域間の温度差、ボランティアの確保

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.8（平均値 2.7） 重要度 3.7（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

- 児童生徒の安全教育や学校の安全管理等の一層の充実を図ることが必要

施策の柱5 支援が必要な子どもに対する教育体制を整える

施策（１）一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
特別支援教育の推進	特別支援教育用設備、用具、教材の整備 ・特別支援教育費学校配当：小学校 8 校 2,059 千円、中学校 5 校 792 千円 ・既存特別支援学級教材備品の整備：小学校 9 校（34 学級）1,478 千円、中学校 5 校（15 学級）591 千円 ・通級指導教室（ことばの教室）への教材費等配当：小学校 1 校（1 教室）370 千円	特別支援教育の充実	要支援児童生徒の増加への対応
特別支援教育研修事業	・特別支援研修会の開催（9 月 26 日／エコーセンター）参加者 42 名 ・各種研修講座の案内	担当教員の専門的知識と資質向上	養護学校等の関係機関との更なる連携
特別支援学級支援員の配置	支援員の配置（H30：小 7 校 21 名、中：3 校 4 名）	児童生徒の困り感に応じた支援の充実	要支援児童生徒の増加への対応

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.6（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

○特別支援学級に在籍する児童生徒が年々増加し、普通学級においても特別な教育的支援を必要とする児童生徒は一定数に在籍していることから、学校全体で特別支援教育の専門性の向上を図ることが必要

施策の柱5 支援が必要な子どもに対する教育体制を整える

施策（2）多様な支援を展開する相談体制の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
スクールカウンセラーの配置	- 市内小中学校の児童生徒のスクールカウンセリング、教職員・保護者に対する専門的助言や情報提供を実施 - 相談数 年間 344 回、1,321 時間	児童生徒や教職員に対する相談体制の充実	学校や教育相談室との更なる連携
家庭児童教育相談室の相談体制の充実	- 相談室の開設（相談員は教育から 1 名、福祉から 2 名を配置） - 相談延べ件数：76 件	不登校や家族関係の相談に応じ、関係機関との円滑な連携	学校や関係機関との更なる連携
いじめ対策事業	いじめ撲滅看板の設置、子ども会議の開催、スクールカウンセラーの配置	いじめの未然防止に向けた取組の推進	「いじめは絶対に許されない」という意識の醸成
学校経営支援事業（Q-Uテスト…楽しい学校生活を送るためのアンケート式心理テスト）	学校で Q-U テストを小 4 校 {中央、西小、南小、西が丘小}、中 2 校で実施 {一中、三中}	児童生徒の悩み、問題行動の早期解決	調査結果の活用方法についての研修

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.5（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの有効活用など一層の相談体制の充実

○いじめの未然防止に向け、児童生徒の人間関係を築く力の育成を推進

○児童生徒に対する情報モラル教育を充実、携帯電話等のフィルタリングの活用について家庭との連携

施策（3）問題や悩みを抱える子どもへの学習機会・指導体制の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
適応指導教室の充実	- 適応指導教室指導員の配置（1 名） - 適応指導教室「クリオネ学級」の開設・運営（毎週月～金曜日 午前 9～午後 3 時） - 通級児童生徒数 H29 年度 5 名（中 1：2 名、中 2：3 名）	不登校児童生徒に対する学習指導と教育相談の充実	個々の児童生徒の困り感に応じた指導

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.4（平均値 2.7） 重要度 3.7（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育・福祉の両分野からの包括的な支援を行うなど、個別の状況に応じた丁寧な居場所づくり

施策の柱6 地域と共に築く学校づくりのための支援体制を整える

施策（１）教職員の資質向上に向けた研修の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学校教育研究実践校補助	指定校教育研究経費補助（H29実績 計930千円） 内訳：網走小 90千円、中央小 70千円、西小 70千円、南小 70千円、潮見小 60千円、東小 75千円、西が丘小 75千円、一中 70千円、二中 70千円、三中 70千円、四中 70千円、五中 70千円、呼人小中 70千円	各学校における校内研修の充実と教職員の授業力の向上	児童生徒の学力向上に結び付く研究内容の更なる改善
授業研修の充実と各種研修事業への参加奨励	網走地方教育研修センター主催の各種講座、 道教委主催の各種研修（初任者研、5年経験者研、中堅教諭等資質向上研、新任校長・教頭研、主幹教諭研、公立学校運営研、栄養教諭研など）、 道立教育研究所主催の各種講座等への参加奨励	各学校における学力向上の取組の改善・充実	参加者の拡大と参加者による研修成果の還流

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.5（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

- 北海道立教育研究所や網走地方教育研修センター等の受講促進、先進地視察研修、公開研究会への参加、オホーツク管内教育研究団体への加入の促進
- 市内すべての学校で公開研究会を実施するとともに、網走市学校教育研究実践事業により公開研究会の開催を支援
- 初任者研修、主幹教諭研修、体育実技研修、ＩＣＴ活用研修などの開催

施策の柱6 地域と共に築く学校づくりのための支援体制を整える

施策（2）多様な教育的ニーズに応える支援体制の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学校教育計画推進事業	・網走市教育推進会議の開催 学校評議員、PTA 役員、校長、教育委員により、学校の諸問題について意見交換を実施（H23 年 12 月開催） ・学校教育アンケート調査（H29 年 3 月実施） 調査対象…合計 2,265 人 ①市民編—18 歳～69 歳の市民 500 人、未就学児童 0 歳～6 歳の保護者 500 人の計 1,000 人 ②保護者編—市内小中学校に在籍する児童生徒 7 歳～15 歳の保護者 800 人 ③教職員編—小中学校の教職員全員 397 人 ④学校評議員編—小中学校の学校評議員全員 68 人 調査期間…平成 30 年 2 月 28 日～平成 30 年 3 月 20 日 【調査票回収結果】 回収数… 827 件 回収率… 36.5% ・学校教育計画策定会議の開催 （平成 30 年 9 月～計 5 回開催予定）	取り組むべき施策について計画的・効率的に実施が図られた	事業の更なる効果的な実施
学習支援員・特別支援教育支援員・学校図書館司書の配置	・学習支援員の配置（小学校 4 校・4 名、中学校 2 校・2 名） ・特別支援教育支援員の配置（小学校 5 校・20 名、中学校 2 校・3 名） ・学校図書館司書の配置（小中学校 15 校・4 名）	教職員の指導力の向上や児童生徒の学力の向上	学校の実情に応じた人的配置

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.6（平均値 2.7） 重要度 3.5（平均値 3.5）	現状維持またはあり方について検討を要する施策

【今後の展望】

- 学習支援員の配置による、習熟度別少人数指導や T T 指導の充実
- 特別支援教育支援員などの人的支援の充実や関係機関との連携
- 学校図書司書の配置や学校図書の整備など、読書環境の改善や、学校図書館機能の充実

施策の柱6 地域と共に築く学校づくりのための支援体制を整える

施策（3）開かれた学校づくりの推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学校開放運営事業	小中学校体育館 11 施設を市民に開放【H29 利用者数（実績）】 網走小学校 668 名 第1中学校 2,001 名 南小学校 1,618 名 第2中学校 871 名 潮見小学校 1,030 名 第3中学校 830 名 中央小学校 1,417 名 第5中学校 373 名 西小学校 1,747 名 呼人小中学校 973 名 東小学校 357 名	利用者のべ年間 11,885 名	利用団体のモラル低下

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.9（平均値 2.7） 重要度 3.3（平均値 3.5）	改善の必要性が低い施策

【今後の展望】

- 「オープンスクールウィーク」の実施や「網走市学校支援地域本部事業」によるボランティアの活用など、地域、保護者との連携

施策（4）地域人材を活用した学校づくりの推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学校評議員制度の運営推進	・全小中学校に学校評議員を配置（各校 5 名程度、計 68 名） 学校運営に関する意見聴取	学校評議員からの意見反映、家庭・地域と連携・協力した学校経営	人材確保、情報の共有化
地域と学校の人的交流推進	・地域住民、学生ボランティアによる読み聞かせ、スキー授業、登下校時の安全指導、伝統芸能の伝承など ・運動会・学芸会などの学校行事への市民参加	地域と学校の人的交流	人材確保と発掘

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.7（平均値 2.7） 重要度 3.3（平均値 3.5）	改善の必要性が低い施策

【今後の展望】

- コミュニティ・スクールの導入により、学校と地域住民等が、「9年間でどのような子供たちを育てるのか」「地域でどのような教育を実現していくのか」という目標やビジョンを共有しながら、地域と一体となった特色ある学校づくりを推進
- 部活動指導への外部指導者の導入を検討

施策の柱7 子どもの学びを支える特色ある教育環境を整える

施策（1）安全で安心して学べる教育環境の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
学校管理運営費	学校施設の管理費【H29実績】 ・備品購入 【小学校】：白鳥台小 芝刈機（174千円）西が丘小 除雪機（703千円）潮見小 掃除機（140千円）南小 印刷機（778千円）中央小 防犯カメラ（339千円）南小 防犯カメラ（378千円）西小 デジタル複合機（753千円） 【中学校】：第三中 ストープ（148千円）第三中 デジタル複合機（756千円） ・業務委託 小中学校機械警備、自家用電気工作物保守、消防用設備保守点検、廃棄物収集運搬処理、ストープ分解掃除、トイレ清掃 ・施設修繕 【小学校】：東小学校プールテント補修工事（1,146千円）、西小学校靴箱改修工事（1,534千円）、グラウンド改修工事（西が丘小）（1,058千円）、電話設備改修工事（網小、南小）（1,444千円）白鳥台小照明器具取替工事（471千円） 【中学校】：グラウンド改修工事（一中）（1,166千円）、電話設備改修工事（三中）（604千円）、第三中学校給水管改修工事（2,182千円）、第四中学校生徒玄関タイル修繕工事（422千円）等 ・維持管理費（光熱水費等）	安全・安心な教育環境の確保	学校施設の老朽化による維持管理の増大
学校施設の営繕・修繕工事	主な改修工事 H21：網走小学校他暖房設備取替（52,112千円） H24：小学校耐震化改修（116,727千円）、中学校耐震化改修（48,694千円） H26：網走小学校他屋上防水改修（67,416千円） H27：小中学校屋体設備落下防止対策工事（75,211千円） H27：小中学校トイレ改修工事（32,316千円） H28：第三中学校受電設備改修工事（32,174千円） H29：第二中学校屋上防水改修（40,803千円）、屋体煙突アスベスト改修（41,472千円）	安全・安心な教育環境の確保	学校施設の整備改修による長寿命化
子ども安全対策事業	地域ボランティアによるパトロール活動、防犯ブザー支給、子ども110番事業、児童生徒に対する安全対策指導	児童生徒の安全確保	ボランティアの確保
スクールバス運行委託事業	・遠距離通学児童生徒のため、西部地区3路線、東部地区5路線の登下校便運行 ・小中学校の広範な教育活動をサポートするため、各校に借上げバスの学校配当を実施（小学校1,461千円、中学校999千円） ・学校の校外学習及び社会科見学等のため、スクールバスの多目的運行を実施 ・休日及び夏・冬休み中の部活動におけるスクールバス運行を実施	遠距離通学児童生徒の利便性の向上と負担軽減	バス停、路線の利用調整、バスボックスの老朽化

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.8（平均値 2.7） 重要度 3.7（平均値 3.5）	現在の水準を維持する施策

【今後の展望】

○学校施設が老朽化している中で適切な維持管理を進め、長寿命化を推進

施策の柱7 子どもの学びを支える特色ある教育環境を整える

施策（2）特色ある学校づくりの推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
地域と学校の人的交流推進	・地域住民、学生ボランティアによる読み聞かせ、スキー授業、登下校時の安全指導、伝統芸能の伝承など ・運動会・学芸会などの学校行事への市民参加	地域と学校の人的交流	人材確保と発掘

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.8（平均値 2.7） 重要度 3.1（平均値 3.5）	改善の必要性が低い施策

【今後の展望】

- 児童生徒の実態や、地域の環境に応じた特色ある教育活動の展開
- 保護者、地域、関係機関との連携、活用による体験学習の充実

施策（3）学校における連携・交流の推進

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
東京農業大学、日本体育大学との連携	・あばしり寺子屋の開催：学生ボランティアによる学習サポート ・子ども体力づくりサポート事業：日体大教員による体育指導	小中学校における教育活動の改善・充実	学生ボランティアの確保（長期休業期間）
学校間の連携	・小中連携会議の開催 ・「学習規律」「学習習慣」の定着に向けた小中連携会議の開催 ・網走市学力向上推進委員会による「全校共通指導事項」の設定	小学校から中学校への円滑な接続	幼稚園、保育園、高等学校との連携の充実

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.6（平均値 2.7） 重要度 3.4（平均値 3.5）	改善の必要性が低い施策

【今後の展望】

- 児童生徒の発達段階に応じた系統的な教育活動の充実を図るため、学校段階間の接続を意識した教育課程の編成・実施や指導方法の工夫改善を図るとともに、各学校間の連携を促進
- 読書指導や家庭学習習慣の定着に成果を上げている学校の取組を網走市学力向上推進委員会の中で共有し、各学校における具体的な取組の改善を推進

施策の柱7 子どもの学びを支える特色ある教育環境を整える

施策（４）就学支援のための制度の充実

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
児童生徒の就学奨励事業の充実	・学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、給食費、新入学児童生徒学用品費、体育実技用具費、生徒会費、PTA会費、クラブ活動費の扶助 ・要保護者に対する修学旅行費の扶助 ・学校保健安全法第24条及び同法施行令第8条に定める疾病の治療に要した費用の援助 ・H29 準要保護児童生徒扶助児童数 565 名、特別支援学級在籍扶助児童数 52 名	経済的支援を要する児童生徒の保護者の負担軽減	認定事務作業の効率化
奨学資金の早期貸付と償還金収納の向上	経済的に就学困難な学生に奨学金及び入学準備金を貸付【H29実績】 ・資金貸付状況 0件 0円 - 大学・専門課程（月額 18 千円、入学準備金 120 千円）0件 - 高校・高等課程（月額 9 千円、入学準備金 60 千円）0件 ・償還金収納状況 2,583,350 円 - 現年度分 1,381,400 円（収納率 60.9%） - 滞納繰越分 1,201,950 円（収納率 8.2%）	収入基準を拡大し利用の拡大を図る	貸付償還金の滞納者に対する対応 利用拡大の周知

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.6（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

○就学に係る経済的支援の推進や相談機能の充実

○経済的な理由や家庭の事情で、家庭学習が困難な児童生徒に対する学習支援や体験活動の機会の充実

施策（５）高等学校・大学等の教育への支援

【現行施策の事務点検評価結果】

主な取組	取組の概要	成果	課題
網走南ヶ丘高等学校定時制振興補助事業	網走南ヶ丘高等学校定時制振興会への教材教具費補助（年額 90 千円）	教職員の指導方法の充実及び生徒の学習支援に寄与	生徒の学習意欲や就職するためのスキル向上の更なる支援

【現行施策のアンケート調査結果】

施策の満足度および重要度	
満足度 2.6（平均値 2.7） 重要度 3.6（平均値 3.5）	優先して改善を要する施策

【今後の展望】

○児童生徒の発達段階に応じた系統的な教育活動の充実を図るため、学校段階間の接続を意識した教育課程の編成・実施や指導方法の工夫改善を図るとともに、各学校間の連携を促進

資料⑤ 「学校教育に関するアンケート結果（調査概要）」

I. 調査の概要

1. 1 調査の目的

本調査は、平成 30 年度に今後の網走市学校教育の基本的方向を明らかにする「網走市学校教育計画(2019-2028)」を策定するにあたり、現状の学校教育に関する課題や期待などについて把握し、多くの皆さま（市民、学校評議員、保護者、教職員）からの意見を教育計画策定に反映することを目的として、実施したものです。

1. 2 調査方法と回収結果

①調査対象・対象数・抽出方法・調査方法

調査対象者は 2,265 人（No.1～5 で回答者が重複しないよう調整）

No.	対象者	調査票	対象数	方法	備考
1	18 歳～69 歳の市民	①市民	500 人	無作為抽出で郵送による調査（返信は受取人払）	
2	未就学児童 0 歳～6 歳の保護者		500 人		約 1,800 人
3	児童生徒 7 歳～15 歳の保護者		800 人		約 2,633 人
4	学校評議員	③学校評議員	68 人	評議員全員に郵送による調査（返信は受取人払）	
5	教職員	④ 校長・教職員	281 人	学校を通じて配布（返信は受取人払）	校長・教頭・主幹教諭・教諭・栄養教諭・養護教諭
		⑤その他教職員	116 人		事務職員・事務補・用務員・栄養士・給食調理員・学習支援員・図書館司書・特別支援教育支援員

②調査期間：平成 30 年 2 月 28 日～3 月 20 日

③回収結果：

編区分	郵送・配付数	回収数	回収率
市 民 編	1,000 人	299 人	29.9%
学 校 評 議 員 編	68 人	40 人	58.8%
保 護 者 編	800 人	278 人	34.8%
教 職 員 編	397 人	210 人	52.9%
合 計	2,265 人	827 人	36.5%

Ⅱ．主な調査結果

2. 1 あばしりの学校教育の満足度および重要度

問2 あばしりの学校教育に関する次の項目について、現在の満足度と、今後の重要度をそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけて下さい。

※下表（現行の網走市学校教育計画の施策一覧）に記載の 27 施策について、満足度および重要度を調査した。

推進方針	施策の柱	施策の展開方向	施策名
確かな自信をもち、共に明日をひらく子どもを育成	幼児期に身につけるべき基礎を育む	幼稚園教育の充実のための支援	円滑な接続のための幼稚園教育への支援
	自ら学ぶ意欲と、自信をもって生きていく力を育む	基礎・基本の定着と主体的な学習の力の育成	確かな学力を育む教育活動の充実 一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実
		社会で生きる実践的な力と夢や希望を育む教育	社会の変化に対応できる実践的な力を育む教育の推進 夢や希望を育むキャリア教育の推進 コミュニケーション能力を育む教育の推進
	思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育む	思いやりのある、社会性を備えた豊かな心の育成	豊かな心を育む教育活動の充実 豊かな感性を醸成する教育活動の充実
		地域への愛着と社会への関心を高める教育	地域から学ぶふるさと教育の推進 社会への関心を高める教育の推進
	心身ともに健康で元気に生活できる体を育む	心身ともに健康で元気に生活できる体を育む	心身の健康を育む健康教育の推進 体力・運動能力向上のための教育活動の充実
		地域に根ざした食育の推進と望ましい生活習慣の確立	地域の食を基盤とした食育の推進 望ましい生活習慣を確立する教育活動の充実 自己の安全を守る安全教育の推進
地域に開かれた、より魅力と信頼のある学校づくりを支援	支援が必要な子どもに対する教育体制を整える	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育体制の整備	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
		支援が必要な子どもに係る相談・指導体制の強化	多様な支援を展開する相談体制の充実 問題や悩みを抱える子どもへの学習機会・指導体制の充実
	地域と共に築く学校づくりのための支援体制を整える	教職員の資質向上と多様な教育に対応した人的配置	教職員の資質向上に向けた研修の充実 多様な教育的ニーズに応える学校運営体制の充実
		家庭・地域と連携した創意工夫ある学校づくりの推進	開かれた学校づくりの推進 地域人材を活用した学校づくりの推進
	子どもの学びを支える特色ある教育環境を整える	安全・安心で特色ある教育環境の整備と充実	安全で安心して学べる教育環境の充実 特色ある学校づくりの推進
		円滑な接続のための学校における連携体制の整備	学校における連携・交流の推進（幼稚園・認定こども園・保育園・小中学校の連携や子ども・保護者・地域住民・教職員の交流）
		学びたい子どものための支援の充実	就学支援のための制度の充実 高等学校・大学等の教育への支援

満足度及び重要度は、下記の式によって設問ごとに算出した数値である。(無回答は含まない)

$$\text{満足度} = \frac{\text{満足} \times 4 + \text{やや満足} \times 3 + \text{やや不満} \times 2 + \text{不満} \times 1}{\text{回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{重要} \times 4 + \text{やや重要} \times 3 + \text{やや重要ではない} \times 2 + \text{重要ではない} \times 1}{\text{回答数}}$$

(1) 各施策の満足度及び重要度

推進方針	施策の柱	施策の展開方向	施策名	満足度	重要度
確かな自信を持ち、共に明日をひらく子どもを育成	幼児期に身につけるべき基礎を育む	幼稚園教育の充実のための支援	1 円滑な接続のための幼稚園教育への支援	2.694	3.567
	自ら学ぶ意欲と、自信をもって生きていく力を育む	基礎・基本の定着と主体的な学びの力の育成	2 確かな学力を育む教育活動の充実	2.686	3.676
			3 一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実	2.545	3.608
		社会で生きる実践的な力と夢や希望を育む教育	4 社会の変化に対応できる実践的な力を育む教育の推進	2.484	3.646
			5 夢や希望を育むキャリア教育の推進	2.516	3.449
			6 コミュニケーション能力を育む教育の推進	2.528	3.723
	思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育む	思いやりのある、社会性を備えた豊かな心の育成	7 豊かな心を育む教育活動の充実	2.708	3.624
			8 豊かな感性を醸成する教育活動の充実	2.650	3.544
		地域への愛着と社会への関心を高める教育	9 地域から学ぶふさと教育の推進	2.757	3.368
			10 社会への関心を高める教育の推進	2.606	3.511
	心身ともに健康で元気に生活できる体を育む	心身ともに健康で元気に生活できる体を育む	11 心身の健康を育む健康教育の推進	2.797	3.585
			12 体力・運動能力向上のための教育活動の充実	2.736	3.535
		地域に根ざした食育の推進と望ましい生活習慣の確立	13 地域の食を基盤とした食育の推進	2.939	3.360
			14 望ましい生活習慣を確立する教育活動の充実	2.706	3.467
			15 自己の安全を守る安全教育の推進	2.807	3.659
地域に開かれた、より魅力と信頼のある学校づくりを支援			支援が必要な子どもに対する教育体制を整える	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育体制の整備	16 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
	支援が必要な子どもに係る相談・指導体制の強化	17 多様な支援を展開する相談体制の充実		2.519	3.604
		18 問題や悩みを抱える子どもへの学習機会・指導体制の充実		2.407	3.710
	地域と共に築く学校づくりのための支援体制を整える	教職員の資質向上と多様な教育に対応した人的配置	19 教職員の資質向上に向けた研修の充実	2.665	3.532
			20 多様な教育的ニーズに応える学校運営体制の充実	2.566	3.454
		家庭・地域と連携した創意工夫ある学校づくりの推進	21 開かれた学校づくりの推進	2.866	3.337
			22 地域人材を活用した学校づくりの推進	2.694	3.316
	子どもの学びを支える特色ある教育環境を整える	安全・安心で特色ある教育環境の整備と充実	23 安全で安心して学べる教育環境の充実	2.842	3.702
			24 特色ある学校づくりの推進	2.766	3.102
		円滑な接続のための学校における連携体制の整備	25 学校における連携・交流の推進（幼稚園・認定こども園・保育園・小中学校の連携や子ども・保護者・地域住民・教職員の交流）	2.641	3.398
			26 就学支援のための制度の充実	2.578	3.556
		学びたい子どものための支援の充実	27 高等学校・大学等の教育への支援	2.326	3.534
			全 27 施策の平均値		

（２）満足度上位および下位 5 項目（平均値 2.653）

現行学校教育計画の 27 施策に対する満足度上位 5 項目（1 位～5 位）は下表のとおりである。

項 目	満足度	順位				
		全体	市民	保護者	教職員	学校評議員
13 地域の食を基盤とした食育の推進	2.939	1 位	1 位	1 位	1 位	16 位
21 開かれた学校づくりの推進	2.866	2 位	14 位	2 位	2 位	1 位
23 安全で安心して学べる教育環境の充実	2.842	3 位	2 位	3 位	8 位	2 位
15 自己の安全を守る安全教育の推進	2.807	4 位	4 位	4 位	9 位	5 位
11 心身の健康を育む健康教育の推進	2.797	5 位	3 位	7 位	5 位	15 位

満足度下位 5 項目（23 位～27 位）は下表のとおりである。

項 目	満足度	順位				
		全体	市民	保護者	教職員	学校評議員
17 多様な支援を展開する相談体制の充実	2.519	23 位	25 位	21 位	23 位	19 位
5 夢や希望を育むキャリア教育の推進	2.516	24 位	20 位	26 位	15 位	14 位
4 社会の変化に対応できる実践的な力を育む教育の推進	2.484	25 位	19 位	25 位	26 位	22 位
18 問題や悩みを抱える子どもへの学習機会・指導体制の充実	2.407	26 位	26 位	24 位	27 位	8 位
27 高等学校・大学等の教育への支援	2.326	27 位	27 位	27 位	22 位	23 位

（３）重要度上位および下位 5 項目（平均値 3.526）

現行学校教育計画の 27 施策に対する重要度上位 5 項目（1 位～5 位）は下表のとおりである。

項 目	重要度	全体順位	市民編	保護者編	教職員編	学校評議員編
6 コミュニケーション能力を育む教育の推進	3.723	1 位	1 位	1 位	4 位	5 位
18 問題や悩みを抱える子どもへの学習機会・指導体制の充実	3.710	2 位	3 位	5 位	1 位	2 位
23 安全で安心して学べる教育環境の充実	3.702	3 位	2 位	2 位	5 位	5 位
2 確かな学力を育む教育活動の充実	3.676	4 位	6 位	3 位	7 位	1 位
15 自己の安全を守る安全教育の推進	3.659	5 位	5 位	4 位	10 位	2 位

重要度下位 5 項目（23 位～27 位）は下表のとおりである。

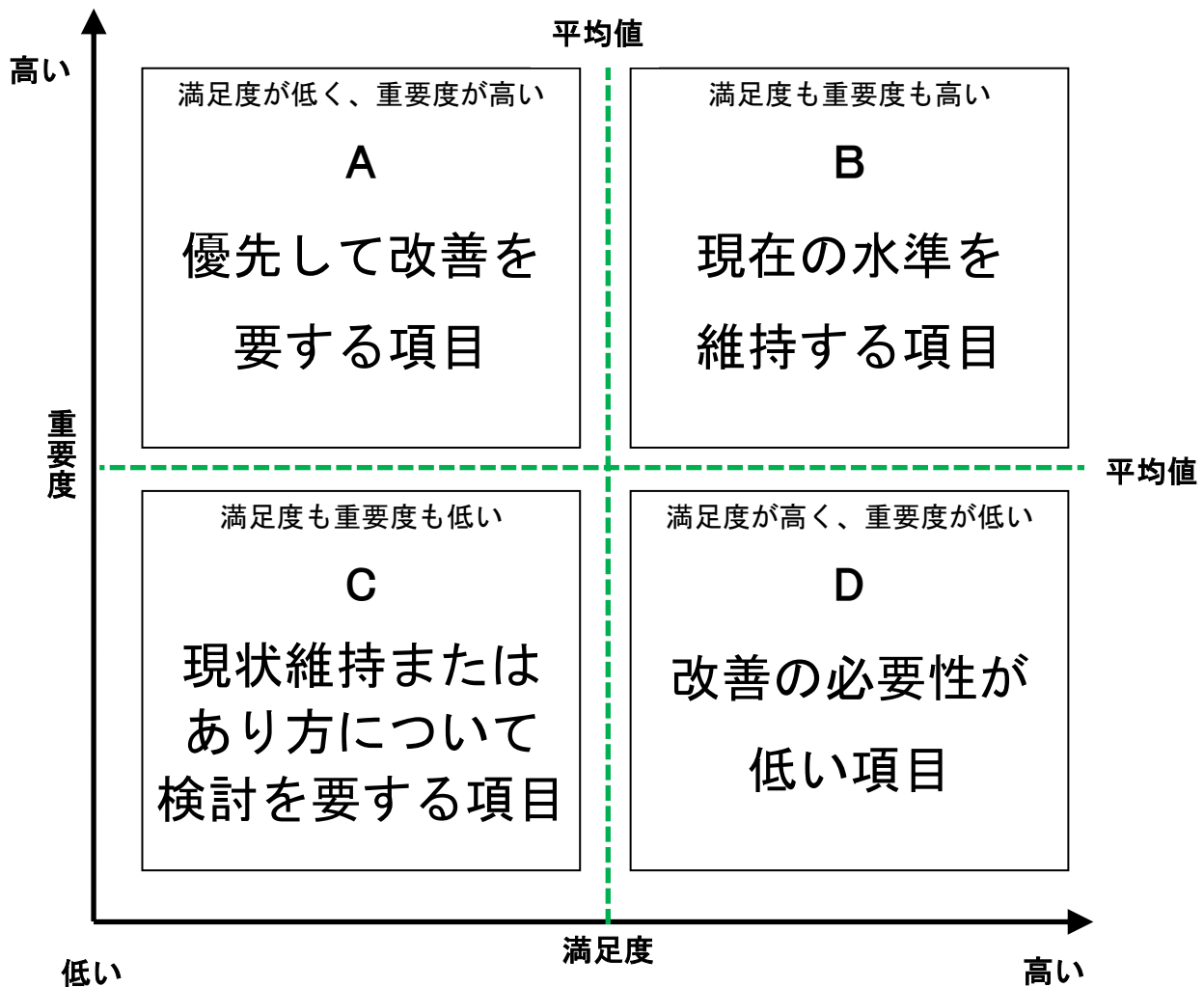
項 目	重要度	全体順位	市民編	保護者編	教職員編	学校評議員編
9 地域から学ぶふるさと教育の推進	3.368	23 位	24 位	22 位	22 位	18 位
13 地域の食を基盤とした食育の推進	3.360	24 位	23 位	25 位	25 位	21 位
21 開かれた学校づくりの推進	3.337	25 位	25 位	23 位	26 位	26 位
22 地域人材を活用した学校づくりの推進	3.316	26 位	26 位	26 位	24 位	25 位
24 特色ある学校づくりの推進	3.102	27 位	27 位	27 位	27 位	27 位

(4) 散布図

満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、各項目の評価点でその位置を表した場合、項目全体の平均値を境界として下図のA、B、C、Dの4つに分類できる。

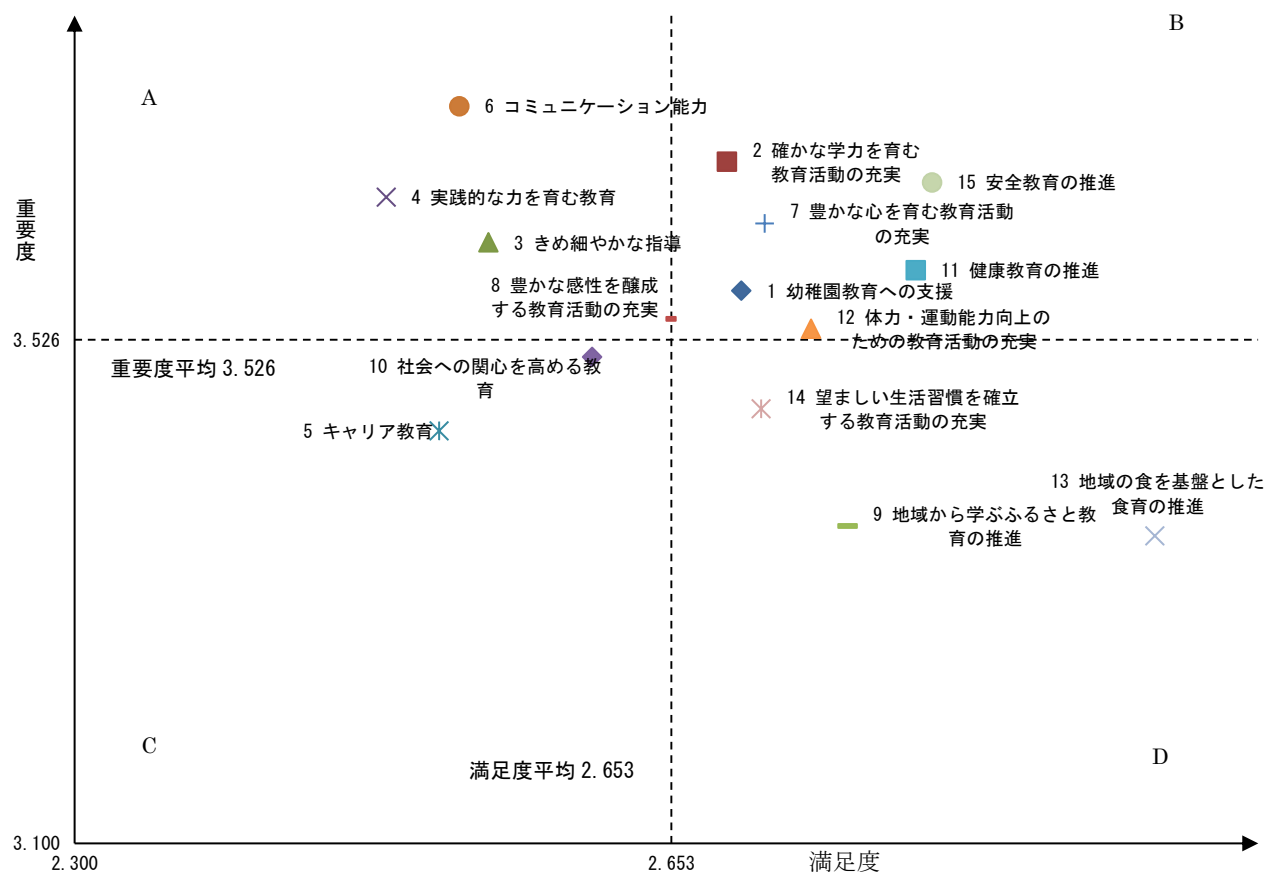
なお、A～Dの分類は、項目全体の満足度及び重要度の平均線で分類した相対的なものであり、平均線に近くなるほど隣接する領域の要素も含まれてくることになる。

したがって、項目を明確に分類するものでない。



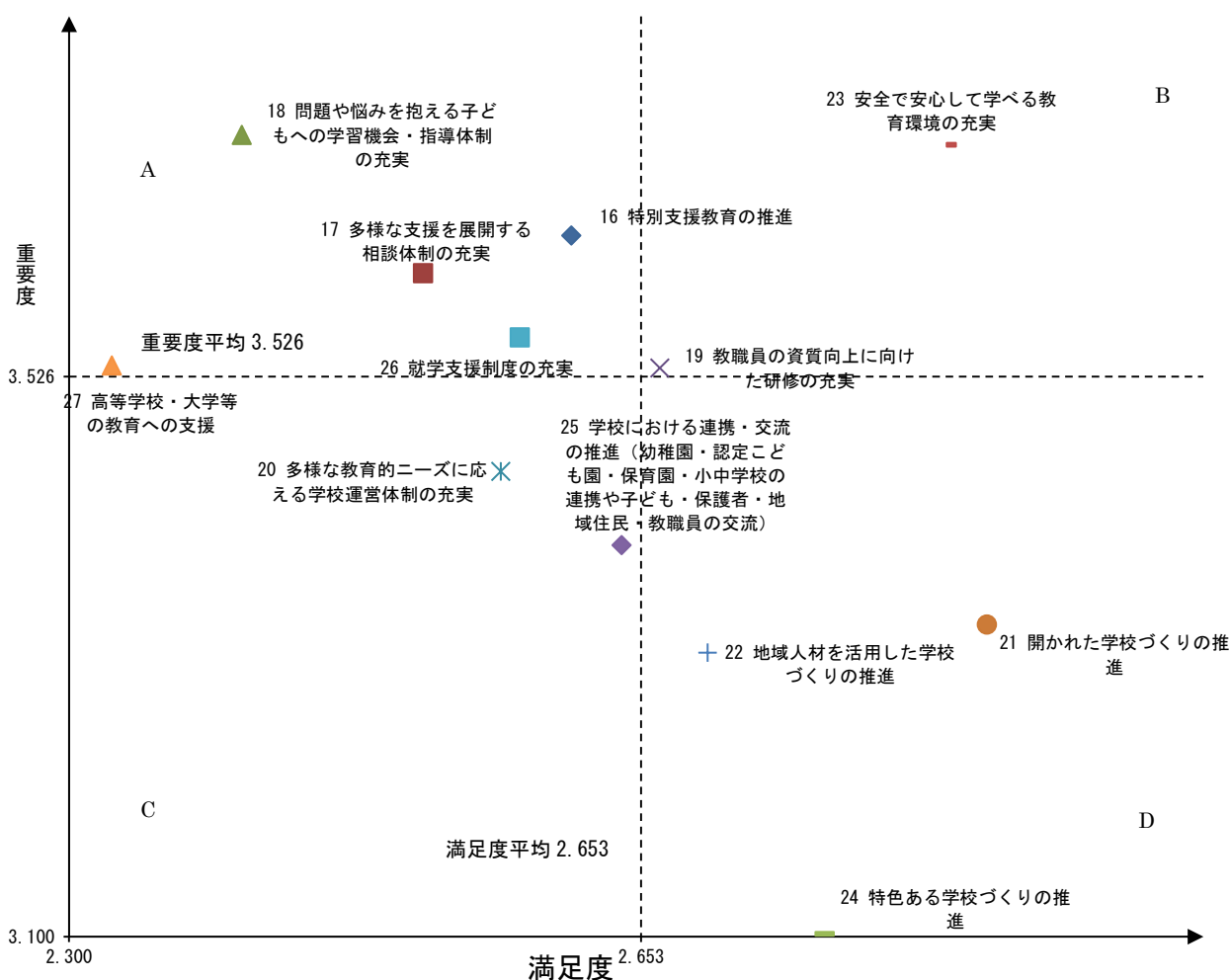
散布図 1 推進方針Ⅰ 確かな自信をもち、共に明日をひらく子どもを育成

項 目	満足度	重要度
1 円滑な接続のための幼稚園教育への支援	2.694	3.567
2 確かな学力を育む教育活動の充実	2.686	3.676
3 一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実	2.545	3.608
4 社会の変化に対応できる実践的な力を育む教育の推進	2.484	3.646
5 夢や希望を育むキャリア教育の推進	2.516	3.449
6 コミュニケーション能力を育む教育の推進	2.528	3.723
7 豊かな心を育む教育活動の充実	2.708	3.624
8 豊かな感性を醸成する教育活動の充実	2.650	3.544
9 地域から学ぶふるさと教育の推進	2.757	3.368
10 社会への関心を高める教育の推進	2.606	3.511
11 心身の健康を育む健康教育の推進	2.797	3.585
12 体力・運動能力向上のための教育活動の充実	2.736	3.535
13 地域の食を基盤とした食育の推進	2.939	3.360
14 望ましい生活習慣を確立する教育活動の充実	2.706	3.467
15 自己の安全を守る安全教育の推進	2.807	3.659



散布図 2 推進方針Ⅱ 地域に開かれた、より魅力と信頼のある学校づくりを支援

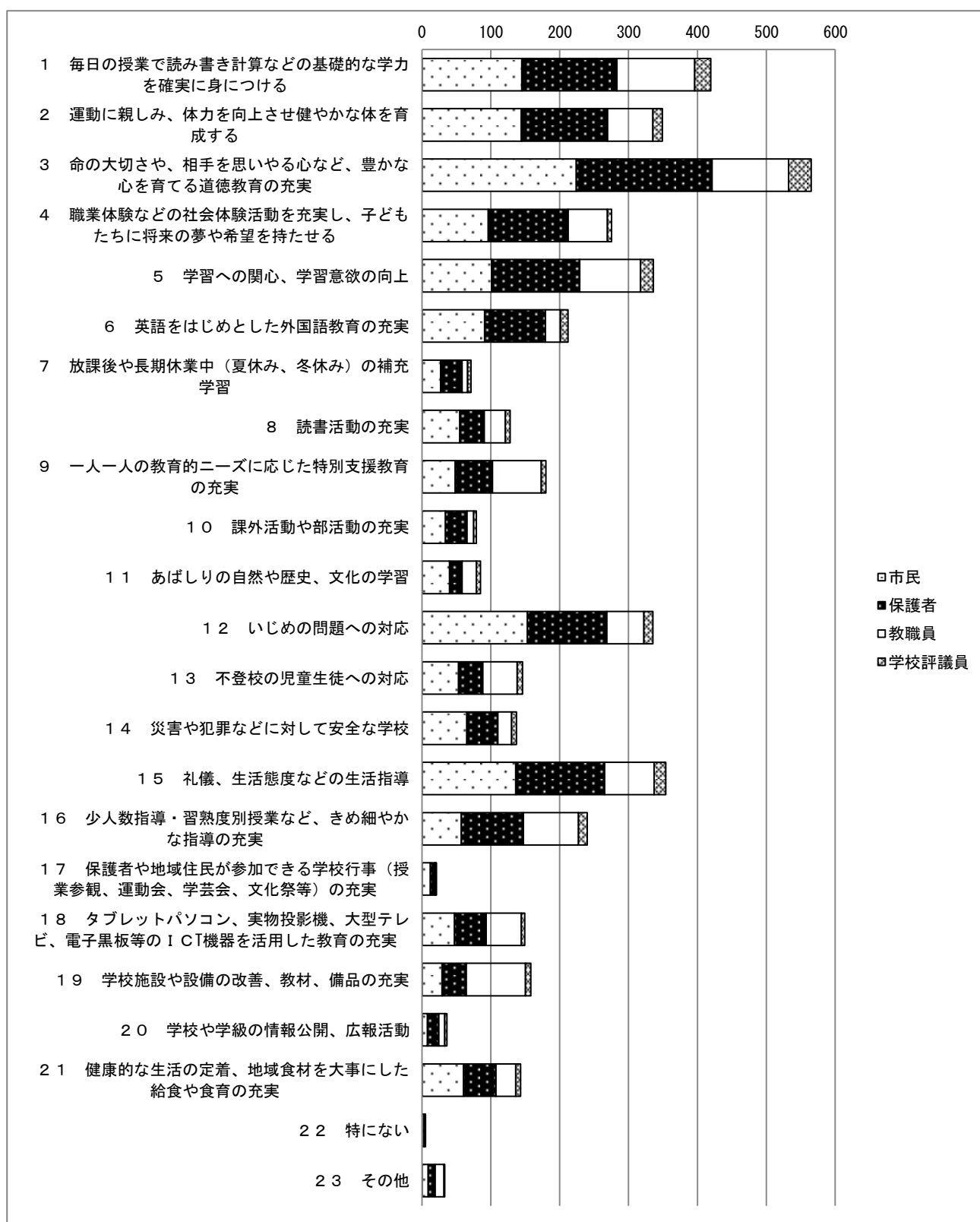
項 目	満足度	重要度
16 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	2.610	3.633
17 多様な支援を展開する相談体制の充実	2.519	3.604
18 問題や悩みを抱える子どもへの学習機会・指導体制の充実	2.407	3.710
19 教職員の資質向上に向けた研修の充実	2.665	3.532
20 多様な教育的ニーズに応える学校運営体制の充実	2.566	3.454
21 開かれた学校づくりの推進	2.866	3.337
22 地域人材を活用した学校づくりの推進	2.694	3.316
23 安全で安心して学べる教育環境の充実	2.842	3.702
24 特色ある学校づくりの推進	2.766	3.102
25 学校における連携・交流の推進（幼稚園・認定こども園・保育園・小中学校の連携や子ども・保護者・地域住民・教職員の交流）	2.641	3.398
26 就学支援のための制度の充実	2.578	3.556
27 高等学校・大学等の教育への支援	2.326	3.534



領 域	施 策
満足度が低く、重要度が高い A領域 (優先して改善を要する項目)	3 一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実 4 社会の変化に対応できる実践的な力を育む教育の推進 6 コミュニケーション能力を育む教育の推進 8 豊かな感性を醸成する教育活動の充実 16 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 17 多様な支援を展開する相談体制の充実 18 問題や悩みを抱える子どもへの学習機会・指導体制の充実 26 就学支援のための制度の充実 27 高等学校・大学等の教育への支援
満足度も重要度も高い B領域 (現在の水準を維持する項目)	1 円滑な接続のための幼稚園教育への支援 2 確かな学力を育む教育活動の推進 7 豊かな心を育む教育活動の推進 11 心身の健康を育む健康教育の推進 12 体力・運動能力向上のための教育活動の充実 15 自己の安全を守る安全教育の推進 19 教職員の資質向上に向けた研修の充実 23 安全で安心して学べる教育環境の充実
満足度も重要度も低い C領域 (現状維持またはあり方について検討を要する項目)	5 夢や希望を育むキャリア教育の推進 10 社会への関心を高める教育の推進 20 多様な教育的ニーズに応える学校運営体制の充実
満足度が高く、重要度が低い D領域 (改善の必要性が低い項目)	9 地域から学ぶふるさと教育の推進 13 地域の食を基盤とした食育の推進 14 望ましい生活習慣を確立する教育活動の充実 21 開かれた学校づくりの推進 22 地域人材を活用した学校づくりの推進 24 特色ある学校づくりの推進 25 学校における連携・交流の推進

2. 2 これからの学校教育に対する要望について

問3 あなたが、あばしりの学校教育について、特に力を入れてほしいことやこれから取り組んでほしいと思っていることは何ですか。（〇は6つまで）

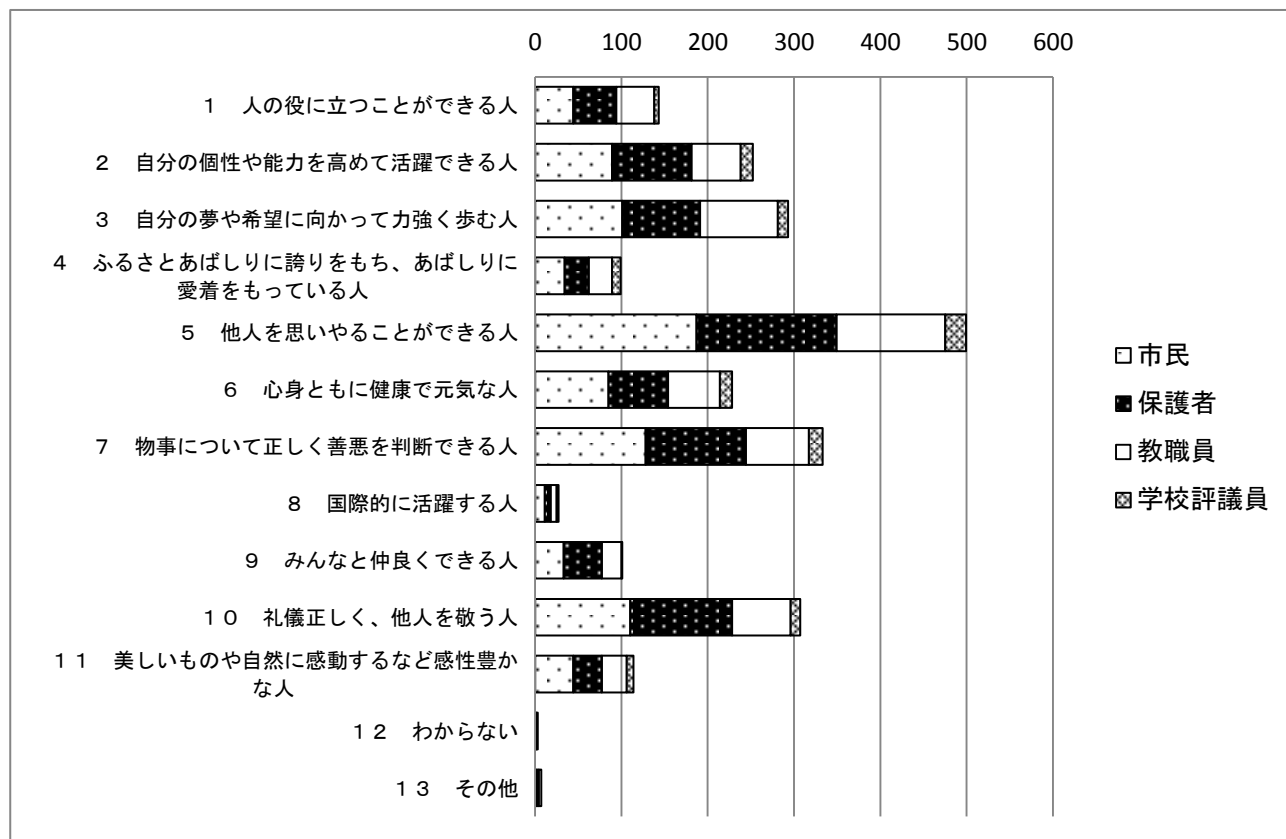


全体の件数・順位と対象者別による順位は下表のとおりである。

回答内容	全体 件数	順位				
		全体	市民	保護者	教職員	学校評 議員
3 命の大切さや、相手を思いやる心など、豊かな心を育てる 道徳教育の充実	565 (12.7%)	1	1	1	2	1
1 毎日の授業で読み書き計算などの基礎的な学力を確実に 身につける	419 (9.4%)	2	3	2	1	2
1 5 礼儀、生活態度などの生活指導	354 (7.9%)	3	5	3	6	4
2 運動に親しみ、体力を向上させ健やかな体を育成する	349 (7.8%)	4	4	5	8	5
5 学習への関心、学習意欲の向上	336 (7.5%)	5	6	4	3	3

2. 3 将来の子どもたち・教育に対する想い

問4 あなたはあばしりの子どもたちにどのような人になってほしいと思いますか。
(○は3つまで)

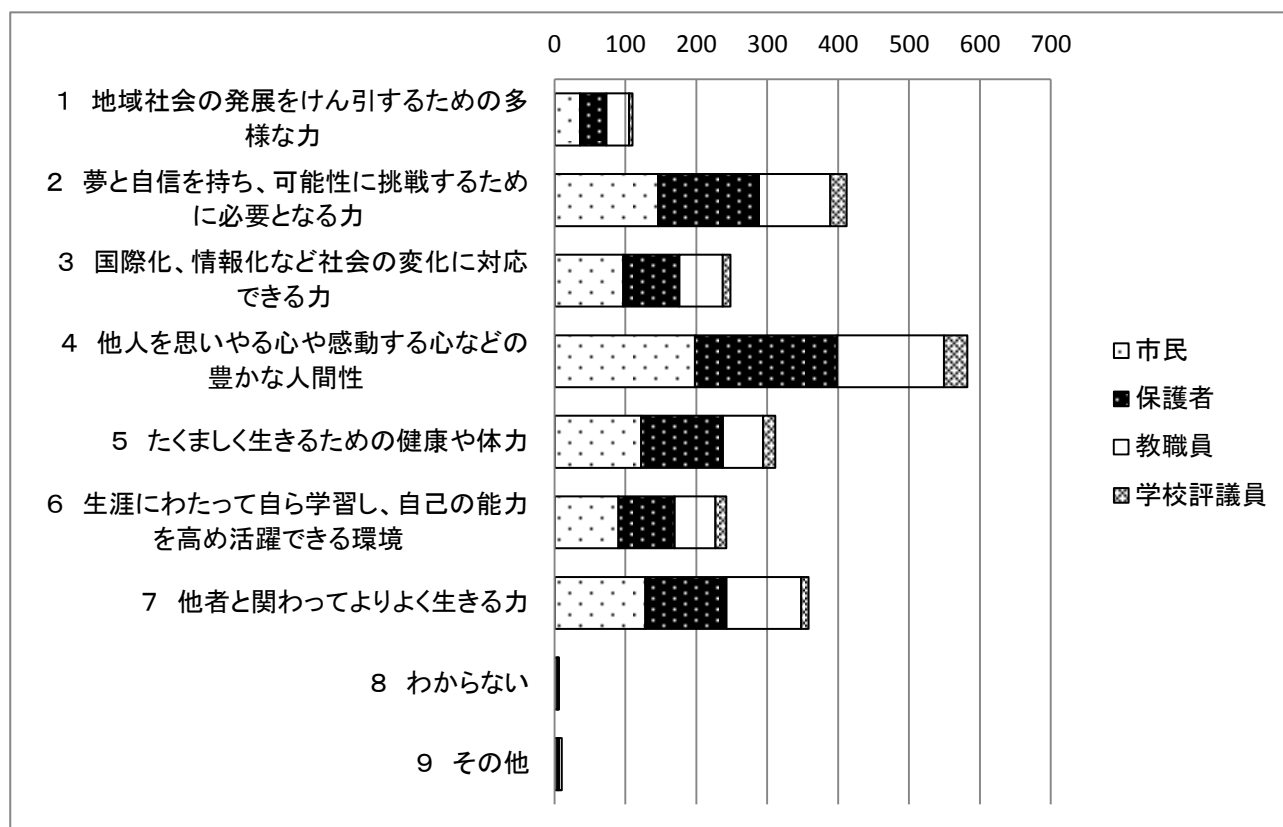


全体の件数・順位と対象者別による順位は下表のとおりである。

回答内容	全体 件数	順位				
		全体	市民	保護者	教職員	学校評議員
5 他人を思いやることができる人	499 (20.7%)	1位	1位	1位	1位	1位
7 物事について正しく善悪を判断できる人	333 (13.8%)	2位	2位	3位	3位	2位
10 礼儀正しく、他人を敬う人	307 (12.8%)	3位	3位	2位	4位	6位

2. 4 新しい時代の教育に向けて

問5 今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちに次のうちどのような資質や力が必要だと思いますか。（〇は3つまで）



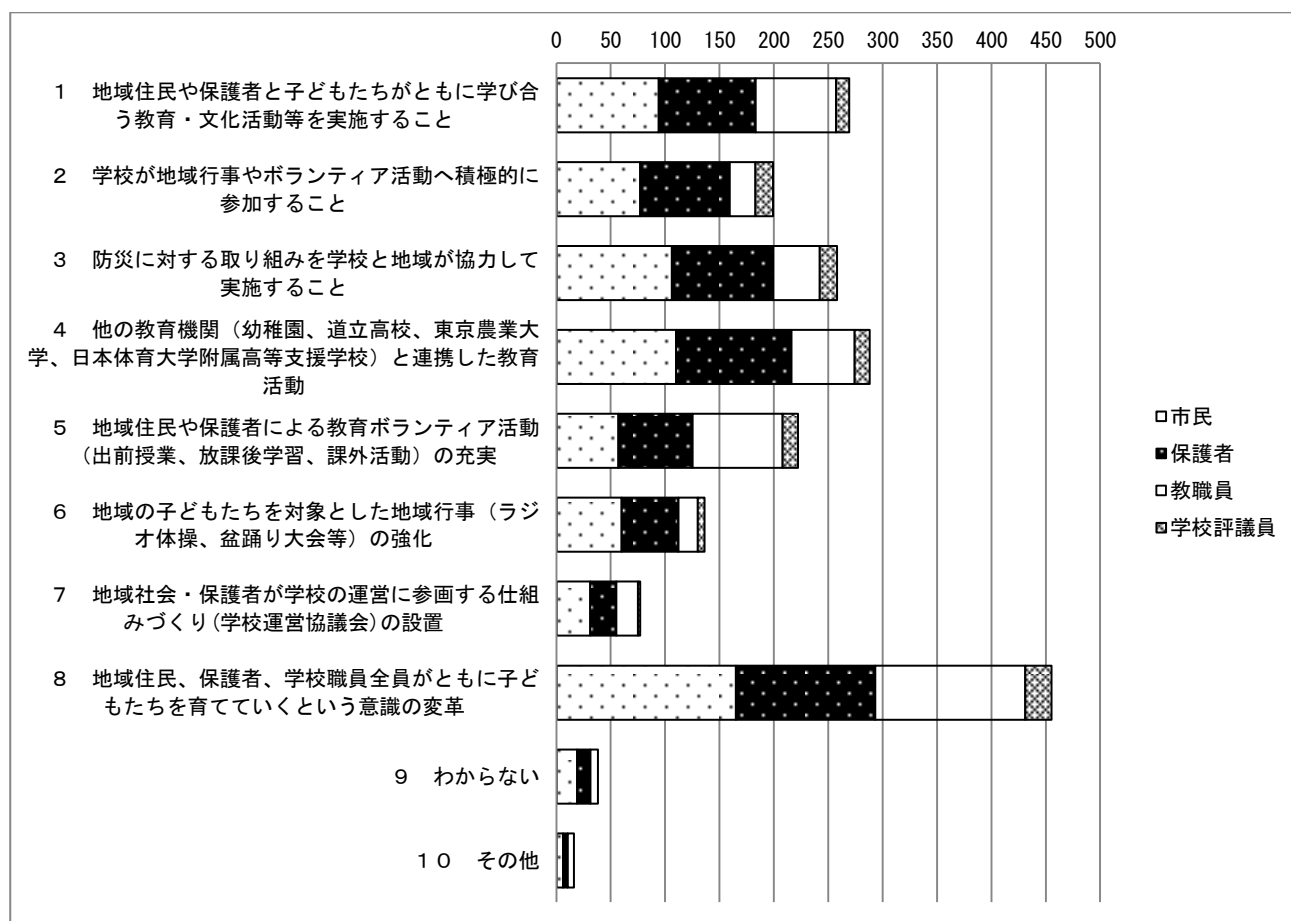
全体の件数・順位と対象者別による順位は下表のとおりである。

回答内容	全体 件数	順位				
		全員	市民	保護者	教職員	学校評議員
4 他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性	582 (25.5%)	1位	1位	1位	1位	1位
2 夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力	412 (18.1%)	2位	2位	2位	3位	2位
7 他者と関わってよりよく生きる力	358 (15.7%)	3位	3位	4位	2位	6位

2. 5 地域とともにある学校づくりについて

問6 地域住民や保護者等が学校と密接に連携・協働していくことが、これからの学校づくりに求められていますが、あなたは次のうちどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)



全体の件数・順位と対象者別による順位は下表のとおりである。

回答内容	全体 件数	順位				
		全体	市民	保護者	教職員	学校評議員
8 地域住民、保護者、学校職員全員がともに子どもたちを育てていくという意識の変革	455 (23.2%)	1位	1位	1位	1位	1位
4 他の教育機関（幼稚園、道立高校、東京農業大学、日本体育大学附属高等支援学校）と連携した教育活動	288 (14.7%)	2位	2位	2位	4位	4位
1 地域住民や保護者と子どもたちがともに学び合う教育・文化活動等を実施すること	269 (13.7%)	3位	4位	4位	3位	6位

資料⑥ 「学校教育計画『子どもワークショップ』報告書」

1. 開催目的

今後 10 年間の網走市学校教育計画の策定にあたり、子どもたちの意見や考え方を反映させるため、『子どもワークショップ』を開催しました。

2. 開催内容

(1) 日 時 平成 30 年 10 月 27 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分

(2) 場 所 エコーセンター2階 大会議室

(3) 対象者 30 名（各小中学校から代表者 2 名）

(4) 協議テーマ

「知（^{まなび}学）」・「徳（^{こころ}心）」・「体（^{からだ}）」の向上に関する取組について

テーマ	協議内容・ポイント
『 ^{まなび} 学』	「学習内容を身につけるため」、「家庭学習の習慣を身に付けるため」には、こんな取組が良だろう！ ○こういう教え方だとよくわかった！ ○こういう形の授業がいい！ ○こういうものを使うとわかりやすかった！ ○こうすれば家庭学習が続けられる！ など
『 ^{こころ} 心』	「相手を思いやる気持ちをもつため」、「自分や友達のよいところを見つけるため」には、こんな取組が良だろう！ ○生徒会でこういう取組をしています！ ○こういう取組をすることで、みんなの心が育っていると思います！ ○先生方のこういう関わり方がいい！ など
『 ^{からだ} 体』	「運動に親しむため」、「体力を高めるため」には、こんな取組が良だろう！ ○こういう体育の授業がいい！ ○こういうものを使うとわかりやすかった！ ○児童会でこういう取組をしています！ ○運動が苦手な人でも楽しめています！ など

(5) 進め方

1 グループ 1 テーマとして、グループワーク形式で次の流れで意見交流を実施しました。

- ①自分の考えを付せんに記入する。
- ②自分の考えをグループの人に伝える。
- ③①で記入した付せんの内容について、仲間分けをする。
- ④グループの考えをまとめる。
- ⑤他のグループに伝える。

3. 各グループの協議内容

小学生『^{まなび}学』グループ

【メンバー：網走小6年 大西 乙香、網走小6年 大森 絢音、中央小6年 伊藤 尊、
南小6年 池田 壮太、東小6年 高橋 虎太郎、白鳥台小6年 乾 舞緒】

(1) グループで出た意見等

仲間分け①自分

- ・疑問に思っていたことをみんなで解決する
- ・授業中うるさくしない（みんなで進めていく）
- ・共感する
- ・たくさん発言する
- ・楽しくやる
- ・わかりたい心になる
- ・先生だけが進めるのではなく、児童どうしが進める（同意見他2件）
- ・自分から手をあげるようにする（同意見他1件）
- ・机の上をきれいにして集中力を高める

仲間分け②家

- ・月に1，2回家庭学習を多めにする取組
- ・他の人の家庭学習のまねをする（同意見他2件）
- ・自分の疑問や調べてみたいことをやる（同意見他1件）
- ・家庭学習でドリルをやる
- ・その日に習ったことの復習をし、それを続ける
- ・家で家庭学習のメモをする
- ・家で丸付けをする
- ・自分の将来を考える
- ・「生活リズムチェックシート～家庭学習編～」などの活用
- ・本の感想をノートに書いて先生に出す
- ・時間を決めてやる
- ・家庭学習を宿題と考える。家庭学習を宿題と思ったら毎日忘れないでやってこれる

仲間分け③学校

③-1 先生

- ・図を黒板に書いてくれる（同意見他1件）
- ・友達と一緒に考えられる授業（同意見他1件）
- ・教卓を置いてほしい。そしたら黒板まわりがごちゃごちゃしないと思う
- ・問題を解くとき、先生が回って教えてくれる
- ・朝学習の時間の学習内容（提案）を出す

③-2 道具を使った授業

- ・スライドショーの活用（同意見他1件）
- ・先生はテレビを使っている（実物投影機）（同意見他2件）
- ・タブレット端末を使っている（同意見他1件）
- ・先生が授業の最後にその日やったことをビデオにまとめてくれる

仲間分け④すべて

- ・提案カード⇒提案を書いて先生にわたす
※一心ボックス（仮名）をすべての学校でやりたい

(2) グループのまとめ（計画14ページに記載）

- 『家』グループ …①家庭学習と宿題をまとめて考え、継続すること
②学年に合った家庭学習をすること
- 『学校』グループ…①（先生）実物投影機などを使って目で見える授業
②（自分）みんなが考える授業
- 『みんなが見えるような物を作る』…家庭学習の良い見本を公開する



小学生『心』グループ

【メンバー：西小6年 伊藤 莉々華、呼人小6年 光武 拓真、南小6年 山田 蓮、
潮見小6年 佐藤 大空、東小6年 千葉 祐奈、白鳥台小6年 菊地 由桜】

(1) グループで出た意見等

仲間分け①ポスト

- ・一心ボックスを作る
「提案カード」と「困ってますカード」を入れるポスト
カードの内容をみんなで話し合う
- ・児童会ボックス
何をしてほしいか紙に書いてもらう
- ・学校づくりアンケート（同意見他 1 件）

仲間分け②うれしい言葉

- ・ありがとう週間
感謝の気持ちをカードに書き、「ありがとうボックス」に入れてもらい、児童会が本人の代わりに伝える
- ・ポカポカ言葉の木
- ・よいところ探し
帰りの会などで友たちの良いところを発表する
- ・親切調べ（児童会）

仲間分け③読書

- ・本を読んで、感想文を書く
- ・おすすめ本の紹介
- ・本の虫

仲間分け④放送

- ・放送委員会が給食時間にクイズやリクエスト曲を流す（同意見他 2 件）

仲間分け⑤話し合い

- ・各係でどうしたらもっとよくなるなど話し合う（同意見他 1 件）

仲間分け⑥いじめをへらす

- ・いじめをへらす（同意見他 2 件）

仲間分け⑦あそぶ

- ・全校遊び（同意見他3件）
- ・朝の運動

仲間分け⑧あいさつ

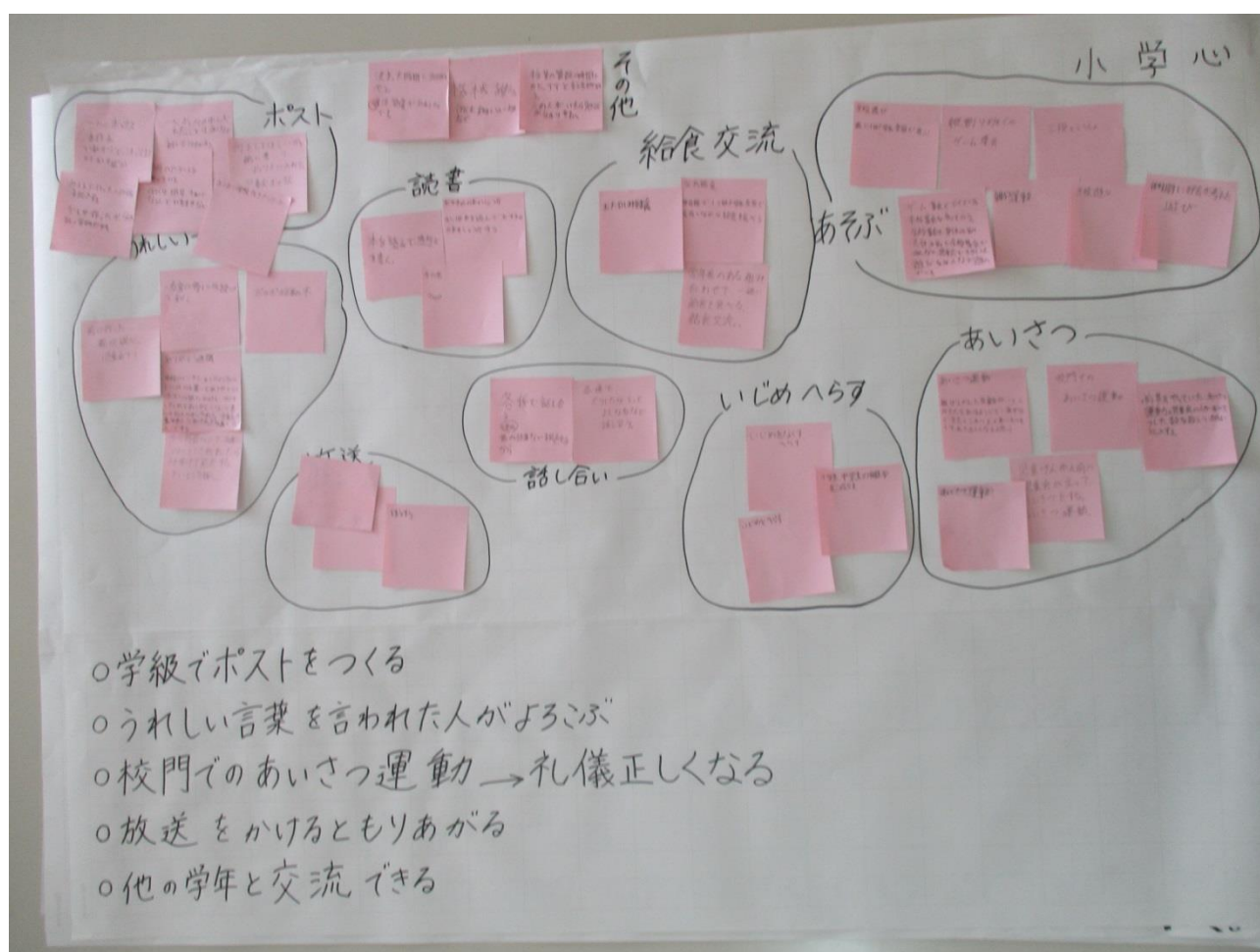
- ・児童会によるあいさつ運動（同意見他4件）

仲間分け⑨給食交流

- ・学年差のある組み合わせで一緒に給食を食べる給食交流（同意見他2件）

(2) グループのまとめ（計画 18 ページに記載）

- 学級でポストをつくる
- うれしい言葉を言われた人がよろこぶ活動をする
- 校門でのあいさつ運動→礼儀正しくなる
- 放送をかけるともりあがる
- 他の学年と交流できる



小学生『^{からだ}体』グループ

【メンバー：中央小6年 倉田 正彦、西小6年 鈴木 日和、呼人小6年 北原 昊虎、
潮見小6年 須川 美月、西が丘小6年 小野 夏楓、西が丘小6年 石川 陽愛】

(1) グループで出た意見等

仲間分け①体力を高めるための取組

- ・スポーツ集会
- ・スポーツ DAY (マラソン、なわとび)
- ・そうじの縦割り班での遊び

仲間分け②わかりやすい授業

- ・友達同士でやり方やコツを教えてあげられる授業 (同意見他 1 件)
- ・体育の授業で、ホワイトボードを使って作戦をたてたり教えてもらう

仲間分け③大会

- ・マラソン大会
- ・ドッジボール大会
- ・ニシリンピック
- ・紙ひこうき大会

仲間分け④休み時間

- ・休み時間の全員遊び (同意見他 2 件)

仲間分け⑤委員会

- ・三役といっしょ
- ・保体委員会での取組 (同意見他 2 件)

(2) グループのまとめ (計画 18 ページに記載)

○みんなができるようになる授業

○みんなで楽しみながら体力を向上できる取組

小学体

体力を高める
ための取り組み

ふだん授業中に 休み時間と同じように 遊ぶように	ふだん授業中に 休み時間と同じように 遊ぶように
ふだん授業中に 休み時間と同じように 遊ぶように	ふだん授業中に 休み時間と同じように 遊ぶように

休み時間

休み時間中に 遊ぶように	休み時間中に 遊ぶように
休み時間中に 遊ぶように	休み時間中に 遊ぶように

わかりやすい授業

わかりやすい授業 の取り組み	わかりやすい授業 の取り組み
わかりやすい授業 の取り組み	わかりやすい授業 の取り組み

大会

大会の取り組み	大会の取り組み
大会の取り組み	大会の取り組み

委員会

委員会の取り組み	委員会の取り組み
委員会の取り組み	委員会の取り組み

- みんなができるようになる授業
- みんなで楽しみながら体力を向上できる取り組み

中学生『^{まなび}学』グループ

【メンバー：第一中2年 大森 穂美、第二中2年 齋藤 松一、
第三中2年 高橋 ことは、第四中2年 菊地 琉生】

(1) グループで出た意見等

仲間分け①プリント

- ・学力テストの前に「学力テスト対策プリント」の配布（同意見他 1 件）
→学習常任委員が作っていて、実際に学力がアップしている（らしい）
- ・家庭学習プリント

仲間分け②計画

- ・「〇時になったら勉強を始める」と決める
- ・その日やることを紙に書き出して、実行したらチェックをつけていく

仲間分け③先生がしてくれてうれしかったこと

- ・家庭学習をして返ってきた時の先生の一言（同意見他 1 件）
- ・家庭学習をポイント制にする
- ・（数学）大事なポイントを軽くまとめてくれるとわかりやすかった。

仲間分け④交流活動

- ・生徒同士の意見交流の時間を設ける（同意見他 1 件）
- ・英語の授業の時にしている交流

仲間分け⑤テスト

- ・基礎コン（教科の区切り毎に実施する、学習内容の簡単なテスト）

仲間分け⑥環境づくり

- ・チャイム着席強化習慣（同意見他 1 件）

(2) グループのまとめ（計画 14 ページに記載）

- 勉強の仕方がわからない人のためのプリントで計画性をもつ。
- 交流活動を短くすることで、うるさくならない勉強しやすい環境ができる。
- 先生がテストを用意してくれたり、一言やアドバイスをくれることで、勉強意欲がわく。

中学「学」

計画

プリント

先生がしてくれて
うれしかったこと

テスト

交流
活動

環境
づくり

〇 勉強の仕方がわからない人のためのプリントで「計画」性をもつ。

〇 交流活動を短くすることでうるさくならず、勉強しやすい環境がでる。

〇 先生がラストを用意してくれたり、一言アドバイスをくれることで、勉強意欲がわく。

中学生『心』グループ

【メンバー：第三中2年 佐藤 瑠菜、第五中3年 大関 樹、
呼人中3年 清野 愛美、呼人中3年 安田 愛】

(1) グループで出た意見等

仲間分け①交流

①-1 生徒会

- ・全校で遊ぶ機会をつくる（同意見他1件）
- ・交流給食（同意見他3件）

①-2 学級

- ・学級レク
- ・休み時間のたわいのない会話
- ・正面からぶつかる
- ・生徒同士の交流

①-1 学校

- ・縦割り班清掃
- ・合唱交流（文化祭時期）

仲間分け②思いやり

②-1 生徒会

- ・ありがとう週間、ハートプロジェクト
- ・あいさつ運動
- ・募金
- ・リングブル集め

②-2 先生

- ・おやしギャグ
- ・先生方も行事に参加する

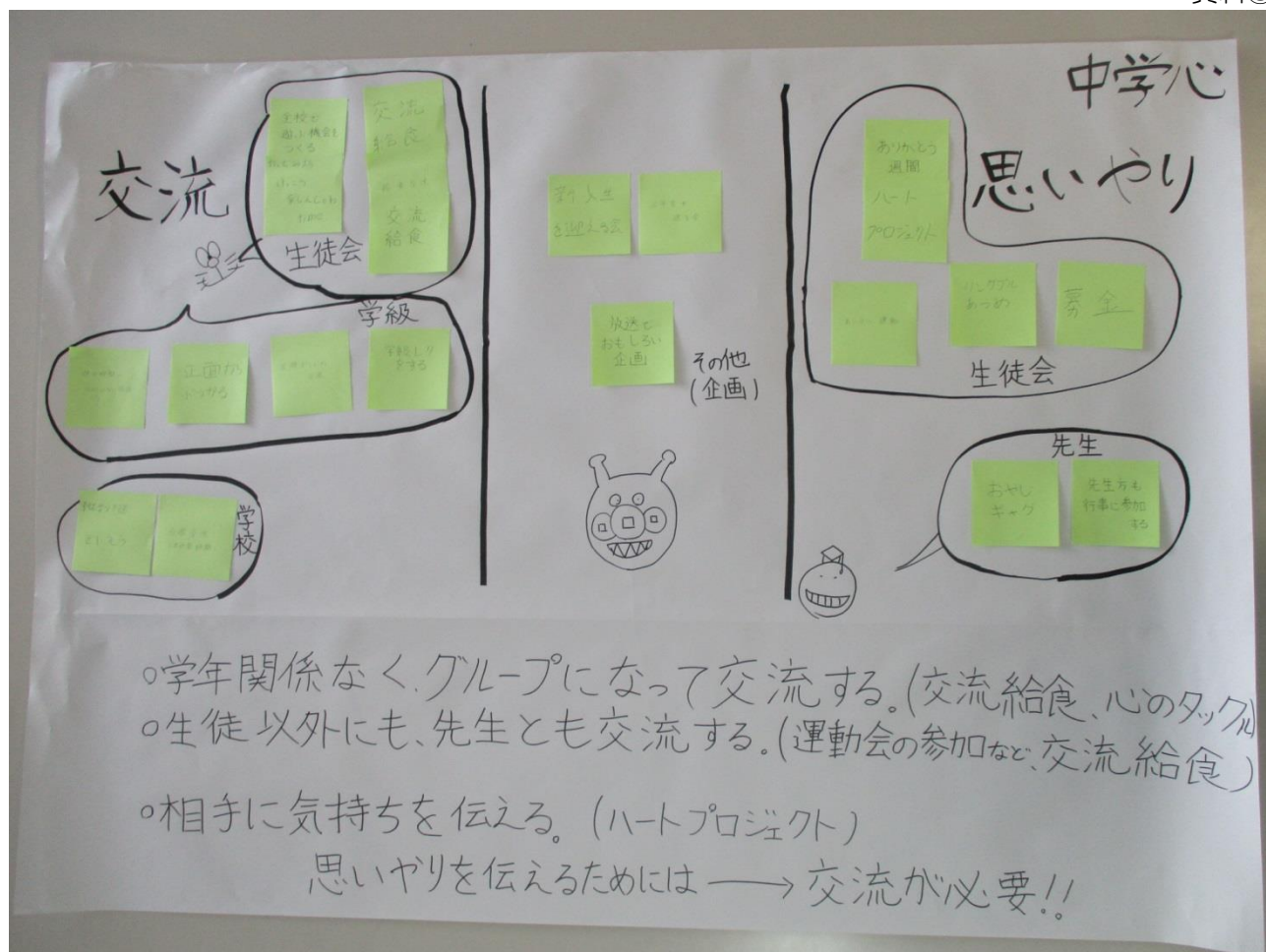
(2) グループのまとめ（計画18ページに記載）

○学年関係なく、グループになって交流する。（交流給食、心のタックル）

○生徒以外にも、先生と交流する。（運動会の参加、交流給食など）

○相手に気持ちを伝える。（ハートプロジェクト）

思いやりを伝えるためには⇒交流が必要！！



中学生『^{からだ}体』グループ

【メンバー：第一中1年 古田 築玖、第二中2年 寺崎 堅真、
第四中2年 柿崎 桃花、第五中2年 佐藤 悠醒】

(1) グループで出た意見等

仲間分け①体育（質）

- ・見本の動画を見てからする
- ・ホワイトボードを使ってみんなで学ぶ
- ・スポーツが苦手な人と、スポーツが好きな人とペアになって、アドバイスをかけながら体育をする
- ・班で協力して活動（特に創作ダンス）（同意見他 1 件）

仲間分け②体育（楽）

- ・力が不平等にならないようにすると楽しめる
- ・男女関係なくチームを作り楽しむ（練習から）（同意見他 1 件）
- ・記録表みたいなプリントをつくる
- ・体育の授業でノートを書く（ハンコがもらえる）
- ・技に点数をつける

仲間分け③気持ち

- ・人に合った運動を行い、あきらめない気持ちをもたせる
- ・手軽にある存在であること（例、昼に野球、サッカー等）

仲間分け④全校

- ・5や7のつく日は必ず歩いてくる
- ・全校生徒を集めて遊ぶ（同意見他 1 件）
- ・体力や能力が関係ないスポーツをして遊ぶ
- ・参加者全員で協力、応援⇒達成感、次もまた…

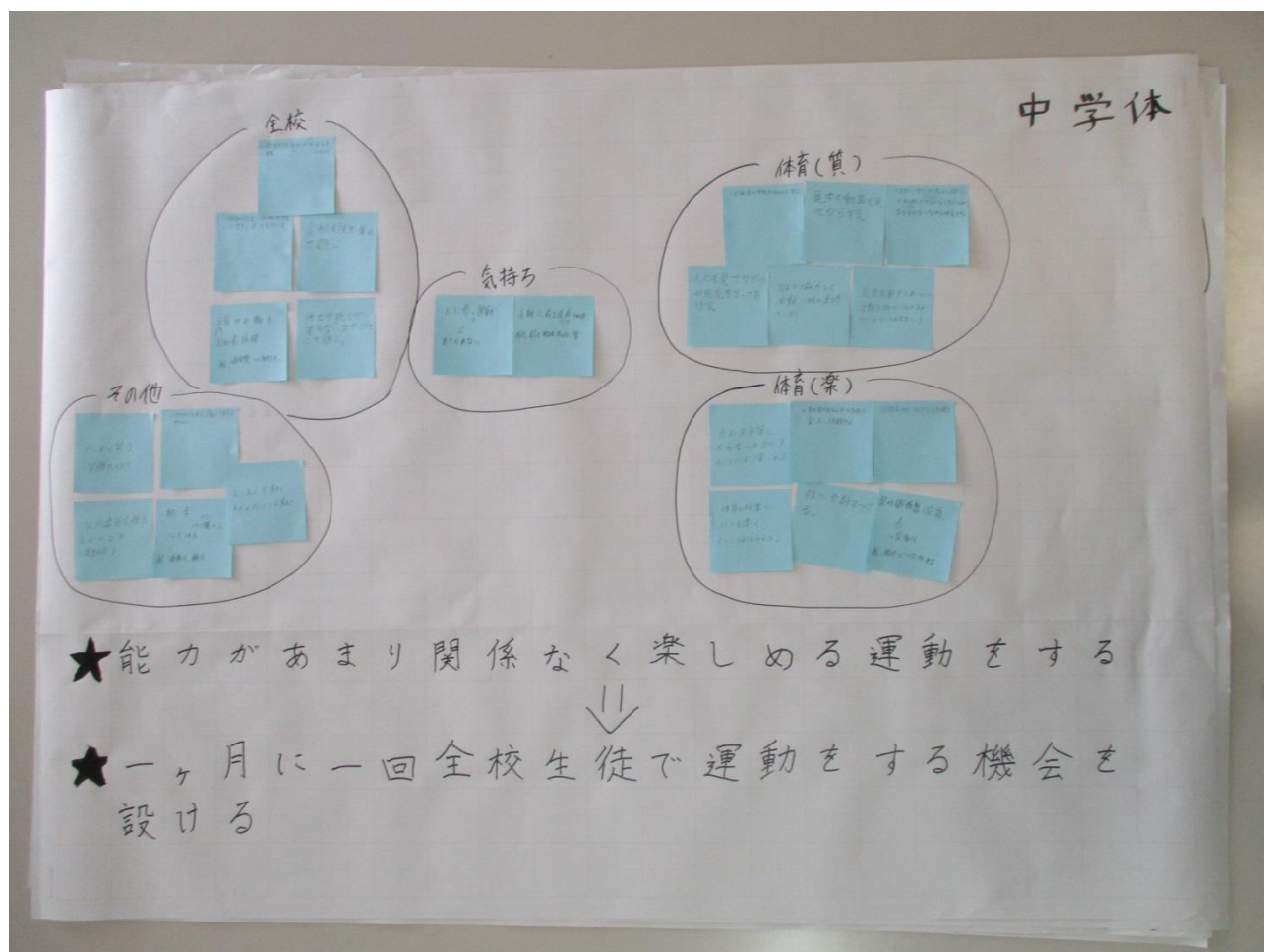
仲間分け⑤その他

- ・とにかく笑う、笑顔大切！！
- ・グラウンドを使った方がいい
- ・とりあえず動く、わからなくても動く
- ・相手、ライバルに勝つ⇒体作り、協力

(2) グループのまとめ (計画 18 ページに記載)

★能力があまり関係なく楽しめる運動をする

★1ヶ月に1回全校生徒で運動をする機会を設ける



網走市学校教育計画

平成 31 年 3 月発行（予定）

発 行 網走市教育委員会
編 集 学校教育部学校教育課
〒093-8555 網走市南 6 条東 3 丁目
TEL : 0152-44-6111（内線 210）
FAX : 0152-45-1404
<http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/>

